

SmartPSS Lite操作手順書 (1.00版)

2024 年 09 月 03 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

文書番号 : WDJ-Tec-MAN-005

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2024/09/03	新規			新規作成

1. はじめに	3
1.1. SmartPSS Lite	3
1.2. 簡易仕様	3
1.3. ファイル入出力について	3
2. インストール	4
2.1. インストール	4
2.2. アプリケーション終了	8
3. メインメニュー	9
3.1. メインメニュー説明	9
4. システム設定	11
4.1. 説明	11
4.2. 基本設定	11
4.3. モニタリング設定	12
4.4. デバイスの設定	12
4.5. イベントスナップショット	13
4.6. ファイルパス	14
4.7. データ管理	14
4.8. 権限管理	14
4.9. ビデオインターコム	14
4.10. バックアップと復元	15
4.11. 補足：起動時に前回終了時の画面を表示	15
5. デバイスマネージャ	16
5.1. デバイスマネージャ表示(共通)	16
5.2. デバイス追加	16
5.3. デバイス削除	24
5.4. デバイス情報インポート / エクスポート	25
5.5. デバイス情報変更	27
5.6. ログイン	28
5.7. ログオフ	29
5.8. Web 設定	30
6. ライブビュー	31
6.1. ライブビュー表示	31
6.2. PTZ 操作	36
6.3. PTZ 設定	38
6.4. ツアー / ビュー	41
6.5. E-MAP	46
7. 再生	53
7.1. 録画再生	53
7.2. スマート検索	60
7.3. 同期再生	61
7.4. 録画データエクスポート	62
8. イベント設定	64
8.1. 設定	64
8.2. イベント連携	69
8.3. イベントセンター	71
9. ログ	73
9.1. ログ表示	73
9.2. デバイスログ表示	75
9.3. 共通：ログ出力	76
10. マニュアル	77
10.1. マニュアル(英語)	77
11. その他操作	78
11.1. パスワードリセット	78
11.2. アンインストール	79

1. はじめに

1.1. SmartPSS Lite

SmartPSS International の後継ソフトウェアで、アクセスコントローラやビデオインターコムとの連携機能を強化したソフトウェアとなります。

本手順書は V1.003.0000005.0.R.240122 を元に作成。

1.2. 簡易仕様

OS	Windows7 64bit 以上 ※1. ※2.
CPU	Intel Corei7 以上
メモリ	8GB 以上
ディスプレイ	1920 x 1080 以上
ビデオチャンネル	同時接続 64 チャンネル
デバイス設定機能	デバイス設定機能は非搭載。 デバイスの IP アドレスを、Web ブラウザから接続して設定を行う。
登録デバイス	Dahua デバイスのみ
Onvif/他社カメラ	非対応 ※3.
ピープルカウント	非対応
ヒートマップ	非対応
滞留検知	非対応

※1. 32bit 版 Windows OS はサポート対象外。

※2. Mac OS 対応版はありません。

※3. レコーダに Onvif/他社カメラを接続した場合の映像表示は可能。

1.2.1. ダウンロード

弊社ライブラリから、ダウンロードをして下さい。

<https://mdiitlib.mdi-jp.net/>

＜ダウンロード手順＞

- ① 左上の検索ボックスから「SmartPSS Lite」と入力して検索する。
- ② 左ペインの「カテゴリー」から「ダウンロード」をクリックして検索する。
- ①②いずれかから「SmartPSS Lite ダウンロード」を開き、右側の「ダウンロードリンク」をクリックするとダウンロードが開始される。

1.3. ファイル入出力について

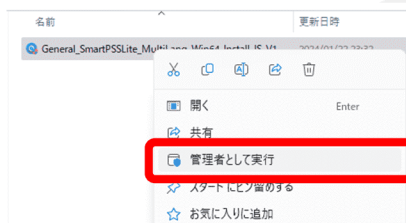
設定ファイルや録画データ等のエクスポート、設定ファイル等のインポートの実行時は、日本語が含まれると処理に失敗する場合があります。日本語を含んだパスを指定しないように注意が必要となります。

2. インストール

2.1. インストール

2.1.1. インストール①

ダウンロードしたインストーラーを右クリックし、「管理者として実行」をクリックする。



2.1.2. インストール②

ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、「はい」をクリックする。

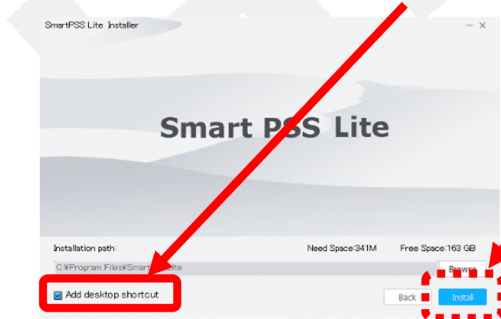
2.1.3. インストール③

「Select Language」から「Japanese」を選択し、「I have read agree the . . .」の「☐」をチェックして「Next」をクリックする。



2.1.4. インストール④

「Add Desktop shortcut」の「☐」をチェックして「Install」をクリックする。



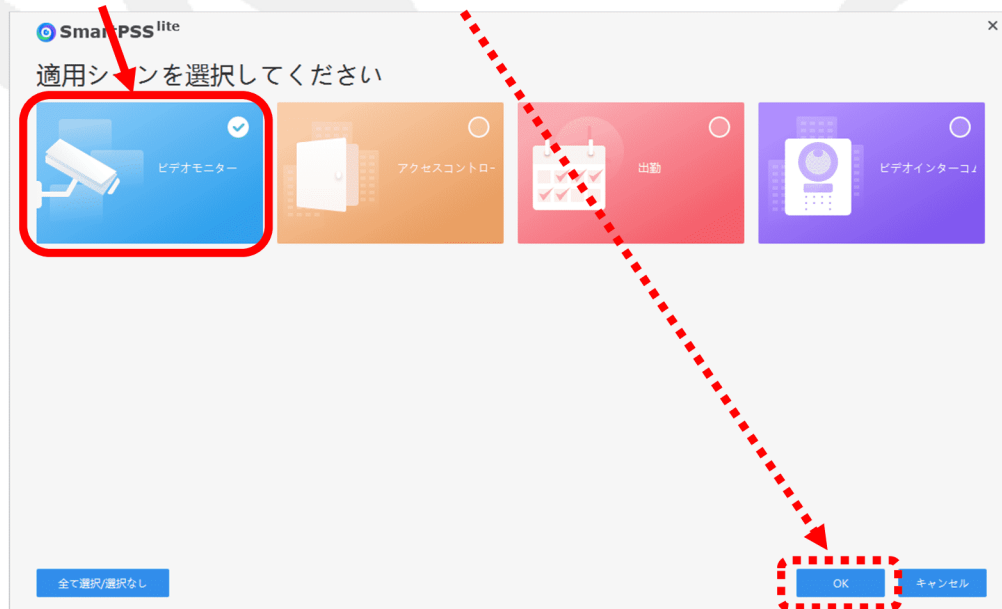
2.1.5. インストール⑤

インストールが終了すると以下の画面が表示されるので、「Run the SmartPSSLite」の「☐」をチェックして「Finish」をクリックする。

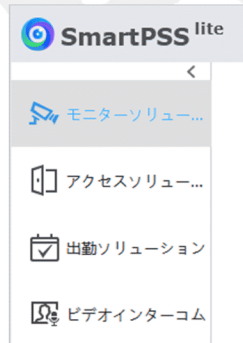


2.1.6. 初期設定①

アプリケーションが起動し、以下の画面が表示される。本手順書では防犯カメラの映像を参照するだけなので、「ビデオモニター」のみチェックして「OK」をクリックする。



※チェックした箇所のメニューが追加で表示されるようになる（初期設定後にも変更は可能）。
以下は全てチェックした場合のメニュー画面。



「ビデオモニター」をチェックすると表示

「アクセスコントロール」をチェックすると表示

「出勤」をチェックすると表示

「ビデオインターコム」をチェックすると表示

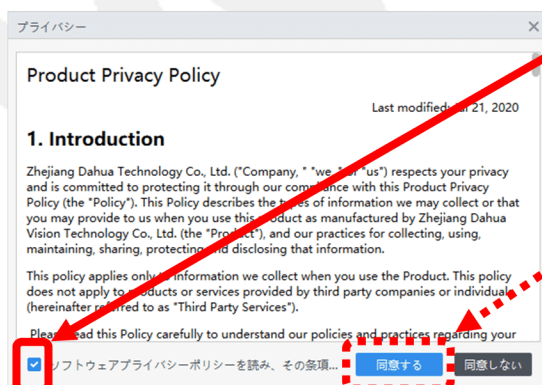
2.1.7. 初期設定②

以下の画面が表示されるので、「ソフトウェア・・・」の「☐」をチェックして「同意する」をクリックする。



2.1.8. 初期設定③

以下の画面が表示されるので、「ソフトウェア・・・」の「☐」をチェックして「同意する」をクリックする。



2.1.9. 初期設定④

以下の画面が表示されるので、管理者用の「パスワード」と「パスワードの確認」を入力し、「登録後、自動ログイン」をチェックして「次へ」をクリックする。



- ※1. パスワードは 8～32 文字で構成し、大文字 / 小文字 / 数字 / 特殊文字(「'':&」を除く)から、少なくとも 2 種類の文字を含む必要あり(使用する文字列によっては 8 文字で設定できない場合あり)。
- ※2. 「登録後、自動ログイン」をチェックすると、以後はログイン画面が表示されなくなる。
- ※3. 管理者パスワードは推測しにくい物を設定し、忘れないようにメモを取ることを推奨。

2.1.10. 初期設定⑤

セキュリティ質問として、問題1～問題3の問題と答えを設定して「終了」をクリックする。

The screenshot shows a window titled '初期化' (Initialization) with two tabs: '1. パスワード設定' (Password Settings) and '2. パスワード プロテクション' (Password Protection). Under the first tab, there is a section 'まず、セキュリティ問題を設定してください' (First, please set security questions). It contains three questions with dropdown menus and text input fields for answers. The questions are: '問題1 子供の時、一番好きな本は何ですか？' (Question 1: What was your favorite book when you were a child?), '問題2 最初の上司のお名前は何か？' (Question 2: What was the name of your first supervisor?), and '問題3 一番好きな果物は何ですか？' (Question 3: What is your favorite fruit?). A red box highlights the question and answer fields. A red arrow points from the text above to the '終了' (End) button at the bottom right.

※セキュリティ質問は管理者パスワードの回復に使用するので、忘れないようにメモを取ることを推奨。

2.1.11. 初期設定⑥

以下の画面が表示されるので、「加入する」をクリックする。

The screenshot shows a window titled 'ユーザーエクスペリエンスプランに参加する' (Participate in the User Experience Plan). It contains a text block explaining that the company's software and human-computer interaction are being improved, and that user experience improvement programs are being implemented. It states that usage information (excluding personal information that can be specifically identified) will be collected, and that the collected information will be used to analyze software usage and improve functionality and performance. At the bottom, there are three buttons: 'プライバシーポリシーを表示' (Show Privacy Policy), '加入する' (Join), and '参加しない' (Do not join). A red box highlights the '加入する' button, and a red arrow points from the text above to it.

2.1.12. SmarPSS Lite 起動

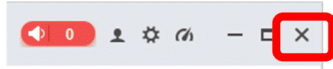
初期設定が終了すると、アプリケーションが起動する。



2.2. アプリケーション終了

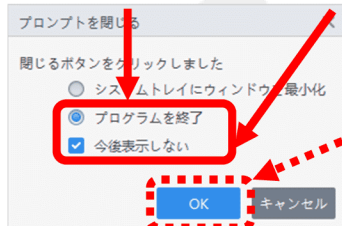
2.2.1. アプリケーション終了 1

右上の「×」をクリックする。



2.2.2. アプリケーション終了 1-①

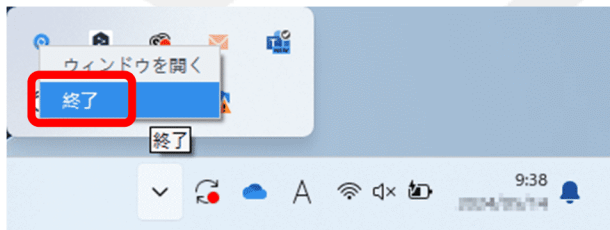
「プログラムを終了」「今後表示しない」をチェックして「OK」をクリックする。



※再起動後、閉じるボタンをクリックすると SmartPSS Lite が終了する。

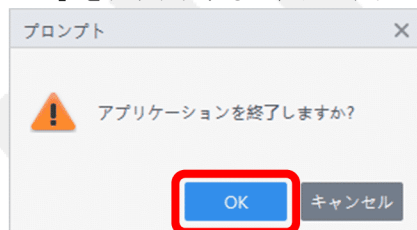
2.2.3. アプリケーション終了 2

タスクバーの SmartPSS Lite のアイコンを右クリックし、「終了」をクリックする。



2.2.4. アプリケーション終了 3

「OK」をクリックすると、アプリケーションが終了する。



3. メインメニュー

3.1. メインメニュー説明

3.1.1. メインメニュー説明

メインメニューに表示されているボタンをクリックすると、最上段に機能タブが追加される。



・メインメニュー

名称	機能
ライブビュー	登録したデバイスの映像を表示する。
再生	登録したデバイスの録画映像を再生する。

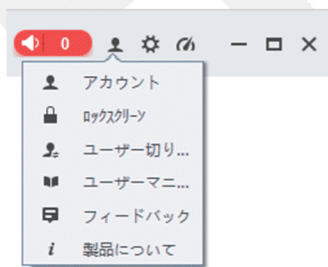
※「アクセスコントロール」「出勤」「ビデオインターコム」はサポート外。

・画面下部

名称	機能
デバイスマネージャ	デバイスの登録削除、接続処理を行う。
ログ	アプリケーションやデバイスのログを表示する。
イベント設定	アラーム連動アクションを設定する。

3.1.2. サブメニュー①

メニュー右上のサブメニューの説明となります。



名称	機能
アカウント	アカウント設定画面を表示する。
ロックスクリーン	画面をロック。解除には管理者パスワードが必要。
ユーザー切り替え	ログイン画面を表示し、ユーザー切り替えを行う。
ユーザーマニュアル	英語マニュアル(PDF)を表示する。
フィードバック	製品のフィードバック画面を表示する。
製品について	製品のバージョン番号を表示する。

3.1.3. サブメニュー②

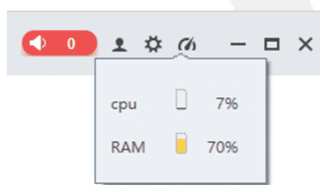
メニュー右上のサブメニューの説明となります。



名称	機能
ソリューションを変更	表示するメニューの変更を行う。2.1.6. 初期設定①と同じ画面が表示される。
システム	システム設定を行う画面を表示する。
サードパーティーデータベースの設定	サポート外。

3.1.4. サブメニュー③

メニュー右上のサブメニューの説明となります。



名称	機能
CPU	PC の CPU 使用状況を表示する。
RAM	PC のメモリ使用状況を表示する。

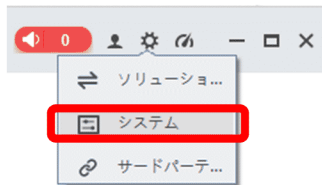
4. システム設定

4.1. 説明

アプリケーション自身の設定を行う、基本設定についての説明となります。

4.1.1. メニュー表示

メインメニューの右上の歯車をクリックし、「システム」をクリックする。



4.2. 基本設定

4.2.1. メニュー説明



名称	機能
オートチェック時間	チェックすると、指定した毎日の時刻に登録デバイスに PC の時刻を同期する。
自動スタート	チェックすると、PC にログインした時に自動的にアプリケーションを起動する。
言語	表示する言語を設定する。
ログ保存時間	ログの保存期間(日数)を設定する。
日付形式	日付の表示形式を設定する。
時間形式	時間の表示形式を設定する。
ネットワーク機能	アプリケーションのネットワークパフォーマンスを選択する。 状態が安定している場合は「高」を選択する。
スキン	アプリケーションの表示色を選択する。 灰白色 : 白ベースの配色 灰青色 : 黒ベースの配色
ユーザエクスペリエンスプラン	2.1.11. 初期設定で設定した機能のオン/オフを行う。
最小動作	チェックすると、アプリケーションを最小化した時にアイコンが表示される。
最大表示	アプリケーションの表示サイズを設定する。 フルスクリーン : タスクバーを隠す全画面にする。 最大ウィンドウ : タスクバーを表示した全画面にする。
初期ページ	起動後に開かれるタブを選択する。 新規 : メインメニューを表示する。 最後のページを復元 : 最後に表示した画面を表示する。 4.11. 参照。
プロンプトを閉じる	右上の「×」をクリックした時の動作を設定する。 システムトレイ・・・ : アプリケーションを最小化する。 プログラムを終了 : プログラム終了するかを選択する。

4.3. モニタリング設定

4.3.1. メニュー説明



名称	機能
デフォルトのストリームタイプ	ライブ映像画面で使用するストリームを選択する。 自適応ストリーム : 自動的にストリームを選択 メインストリーム : メインストリームのみ使用する サブストリーム : サブストリームのみ使用する
インスタント再生時間	ライブビューから「インスタント再生開始」をクリックすると、現在から指定の時間(分)だけ過去から再生されます。
ローカル記録時間	PCでの録画時間を設定する。 ※30分に設定した場合、録画30分経過後にPCへファイル保存を行う。
デフォルトのデバイスツリー	デバイスの表示方法を設定する。 デバイスツリー(デバイスごと) : デバイスをツリーとして表示する 個別ツリー(チャンネルごと) : チャンネルをツリーとして表示する
デコードタイプ	映像のデコード方法を選択する。 ソフトデコーディング : CPUを使用してデコードする ハードウェアデコーディング : グラフィックカードでデコードする
最後のプレビューを再開	アプリケーション起動時に、前回起動時の最後に表示したビューを表示する。
IVS ルールの表示	イベントのルールを画面上に表示する。
デバイスツリーの選択の保存	選択したデバイスツリーを記憶する。

4.4. デバイスの設定

4.4.1. メニュー説明



名称	機能
デバイスオートログイン	チェックすると、アプリケーション起動時に登録したデバイスへ自動的にログインを行ってオンラインにする。4.11. 参照。

4.5. イベントスナップショット

4.5.1. メニュー説明



名称	機能
繰り返す	チェックすると、イベントが発生するとアラーム音が繰り返して再生される。
グローバル WAV	イベント発生時に再生する WAV ファイルを設定する チェックする : 全てのイベントで同じ WAV ファイルが再生される チェックしない : 個別のイベント毎に再生する WAV ファイルを設定できる
SMTP	イベント発生時にメール送信の有無を設定する。8.1.4. イベント連携②でアプリケーションからメール送信を行う場合は、この設定が必須となる。 チェックする : SMTP 情報を設定する事でイベント発生時にメールを送信する チェックしない : メールを送信しない

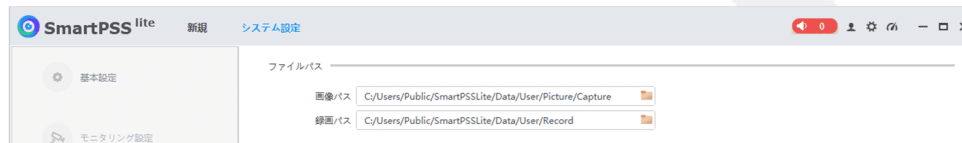
○SMTP を有効にした場合

名称	機能
SMTP サーバー	SMTP サーバーのホスト名/IP アドレス。
ポート	SMTP サーバーのポート番号。
ユーザー名	アカウント。
パスワード	パスワード。
送信人	送信元メールアドレス。
受取人	受信先メールアドレス。最大 5 つまで登録可能。
暗号化モード	メールの暗号化を設定する。 なし : 暗号化なし SSL : SSL でメールを暗号化する TLS : TLS でメールを暗号化する
間隔	設定した間隔でメールを送信する。
テスト	クリックするとテストメールを送信する。

4.6. ファイルパス

4.6.1. メニュー説明

アプリケーションで保存した画像や映像を保存するパスを設定する。



名称	機能
画像パス	画像を保存するパス。デフォルトは以下のパスが設定されている。 C:/Users/Public/SmartPSSLite/Data/User/Picture/Capture
録画パス	録画データを保存するパス。デフォルトは以下のパスが設定されている。 C:/Users/Public/SmartPSSLite/Data/User/Record

4.7. データ管理

4.7.1. メニュー説明(サポート外)

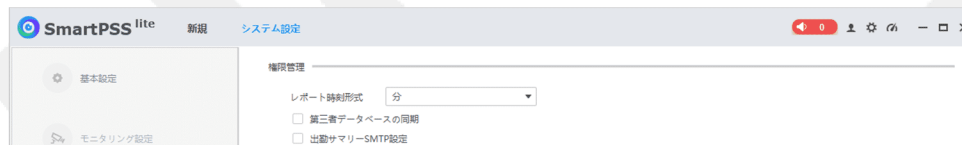
保存されている出席に関するデータを定期的に削除する。



4.8. 権限管理

4.8.1. メニュー説明(サポート外)

出席設定に関する設定を行う。



4.9. ビデオインターコム

4.9.1. メニュー説明(サポート外)

ビデオインターコムの設定を行う。



4. 10. バックアップと復元

4. 10. 1. メニュー説明

アプリケーションのバックアップと復元を行う。



名称	機能
バックアップパス	バックアップファイル(設定含む)を保存するパス。フォルダ型ボタンをクリックするとパスの変更ができる。デフォルトのパスは以下の通り。 C:/Users/Public/SmartPSSLite/Data/User/Backup
手動バックアップ	ボタンをクリックすると、バックアップファイル(設定含む)を保存するパスを指定して、バックアップを行う。
自動バックアップ	チェックすると、自動バックアップを行う。実行の頻度や実行時間を設定する。
プラットフォーム設定	設定ファイルを保存するパス。フォルダ型ボタンをクリックするとパスの変更ができる。デフォルトのパスは以下の通り。 C:/Users/Public/SmartPSSLite/Data/User/BackupPlatConfig
手動バックアップ	ボタンをクリックすると、設定ファイルを保存するパスを指定して、バックアップを行う。
自動バックアップ	チェックすると、自動設定バックアップを行う。実行の頻度や実行時間を設定する。
復元する	バックアップファイルを指定してリストアを行う。

4. 11. 補足：起動時に前回終了時の画面を表示

4. 11. 1. 機能説明

前回起動時に終了した時に表示していた画面を、次回起動時に表示させる事ができる。
実現には複数の機能を設定する。

メニュー1	メニュー2	機能
基本設定	初期ページ	「最後のページを復元」を選択する。
モニタリング設定	最後のプレビューを再開	チェックを入れる。
デバイスの設定	デバイスオートログイン	チェックを入れる。

5. デバイスマネージャ

デバイスの登録 / 変更 / 削除を行う。

5.1. デバイスマネージャ表示(共通)

ネットワーク内のデバイスを、アプリケーションへ登録する手順となります。
メインメニューから、「デバイスマネージャ」をクリックする。

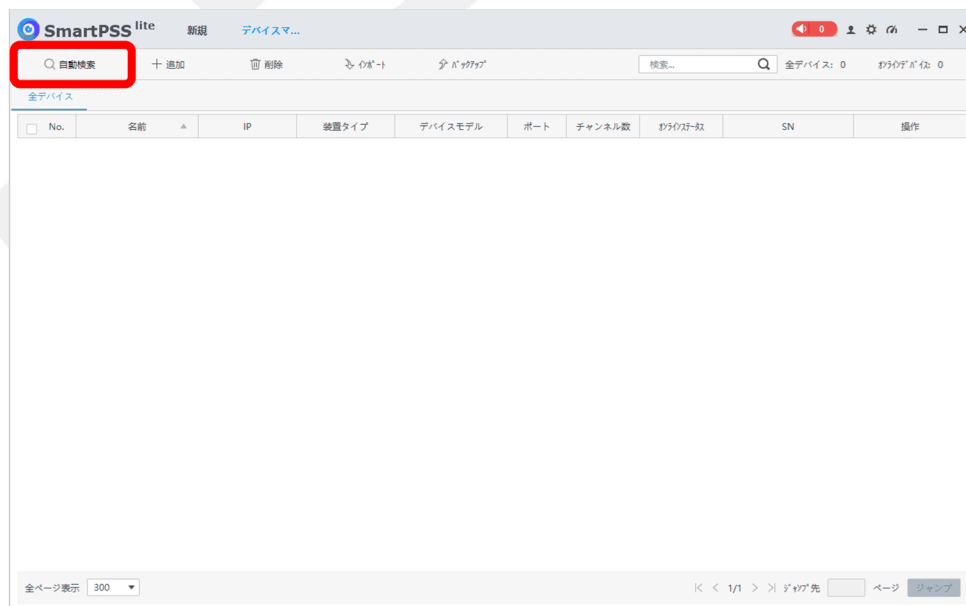


5.2. デバイス追加

5.2.1. デバイス追加(自動検索)

5.2.1.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックする。



5.2.1.2. デバイス登録①

自動検索画面が表示され、ネットワークのデバイスが検索・表示される。
登録したいデバイスの「No.」にチェックを入れて、「追加」をクリックする。

No.	IP	装置タイプ	MACアドレス	ポート	初期化ステータス
1	192.168.1.1	DSS Windows	00-00-00-00-00-00	443	初期化しま...
2	192.168.1.2	DH-IPC-HF5241E-E	00-00-00-00-00-00	7777	初期化しま...
3	192.168.1.3	DH-SD22204DBN-ONY	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...
4	192.168.1.4	DH-SD22204UEN-ON	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...
5	192.168.1.5	DH-SD1A203TN-ON	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...
6	192.168.1.6	DH-SD49225XAN-ONR	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...
7	192.168.1.7	DH-IPC-EBW81242A...	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...
8	192.168.1.8	IPC-HDBW3241F-AS-M	00-00-00-00-00-00	3777	初期化しま...

※デバイスセグメントに違うセグメントを設定して「検索」をクリックすると、指定したセグメントを検索する。

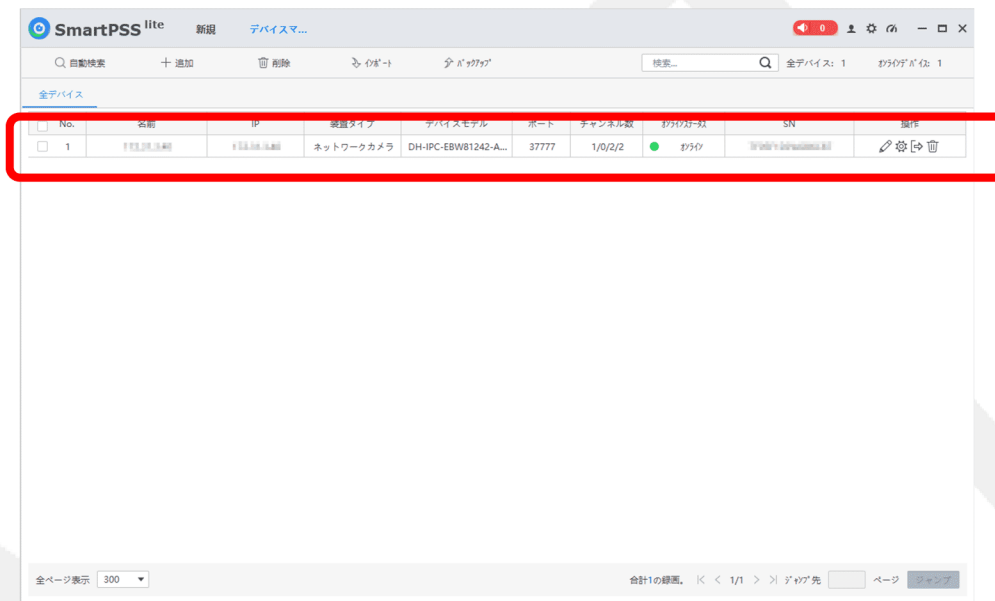
5.2.1.3. デバイス登録②

以下の画面が表示されるので、デバイスの管理者権限ユーザーとそのパスワードを入力して「OK」をクリックする。

ユーザー名:	パスワード:

5.2.1.4. デバイス登録③

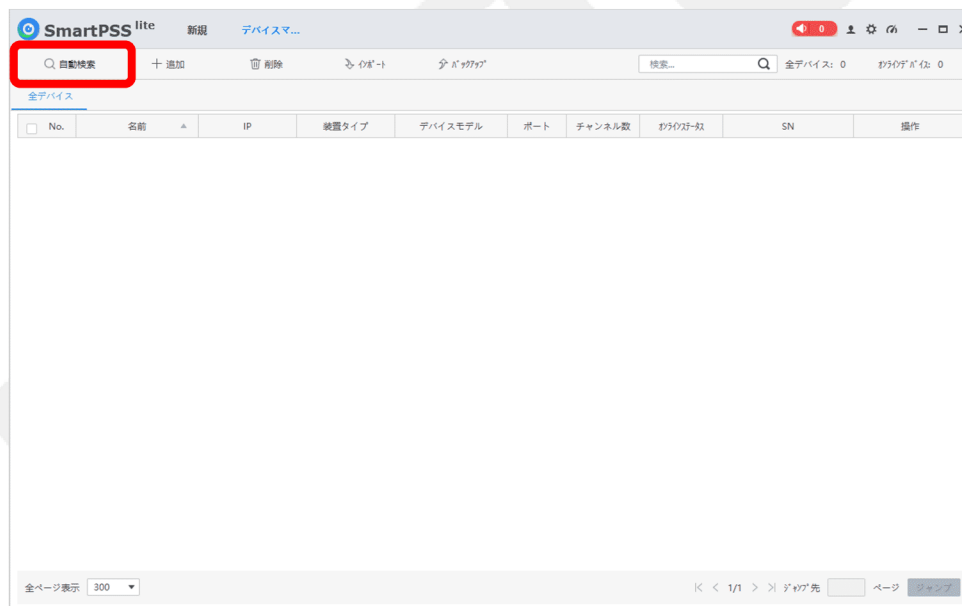
指定したデバイスが一覧に追加される。



5.2.2. デバイス追加(IP アドレス変更)

5.2.2.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックする。



5.2.2.2. IP アドレス変更①

自動検索画面が表示され、ネットワークのデバイスが検索・表示される。

IP アドレスを変更したいデバイスの「No.」にチェックを入れて、「IP 変更」をクリックする。

No.	IP	装置タイプ	MACアドレス	ポート	初期化ステータス
1	192.168.1.1	DSS Windows	00-00-00-00-00-00	443	初期化しま...
2	192.168.1.2	DH-IPC-HF5241E-ME	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
3	192.168.1.3	DH-SD22204DBN-GWY	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
4	192.168.1.4	DH-SD22204UEN-4-N	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
5	192.168.1.5	DH-SD1A203TN-GN	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
6	192.168.1.6	DH-SD49225XAN-FNR	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
7	192.168.1.7	DH-IPC-EBW81242-A...	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...
8	192.168.1.8	IPC-HDBW3241F-A3-M	00-00-00-00-00-00	37777	初期化しま...

※デバイスセグメントに違うセグメントを設定して「検索」をクリックすると、指定したセグメントを検索する。

5.2.2.3. IP アドレス変更②

変更したい IP アドレスの情報を入力したら、「OK」をクリックする。

デバイスIPを変更

新IP: *

サブネットマスク: *

ゲートウェイ: *

OK キャンセル

5.2.2.4. IP アドレス変更③

変更するデバイスのユーザー名・パスワードを入力したら、「OK」をクリックする。

ログイン情報

ユーザー名: *

パスワード: *

OK キャンセル

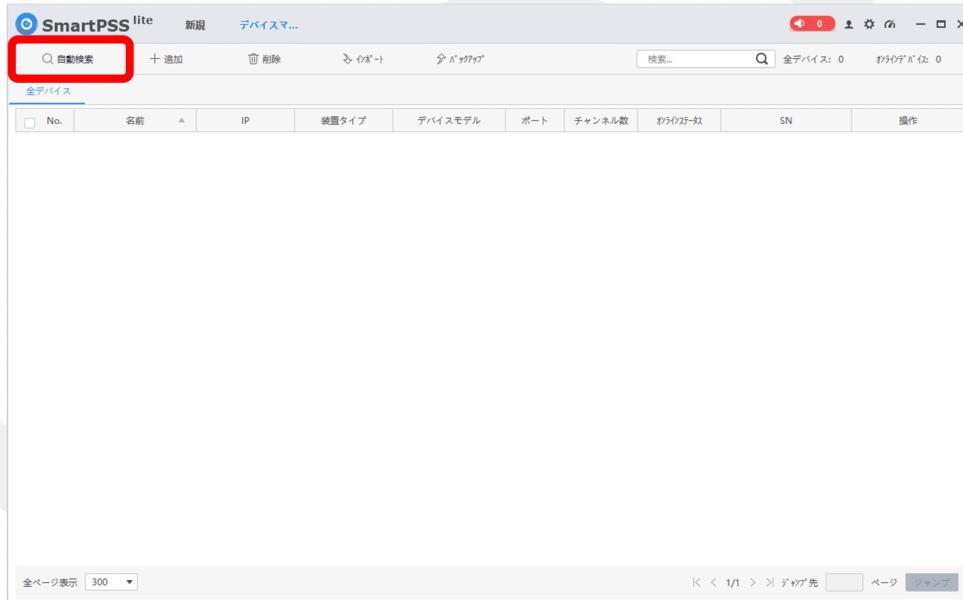
※正しいユーザー名・パスワード情報を入力しないと、IP アドレス変更に失敗する。

5.2.3. デバイス追加(デバイス初期化)

デバイスの初期化ができるのは、PC と同じセグメントにあるデバイスのみ。

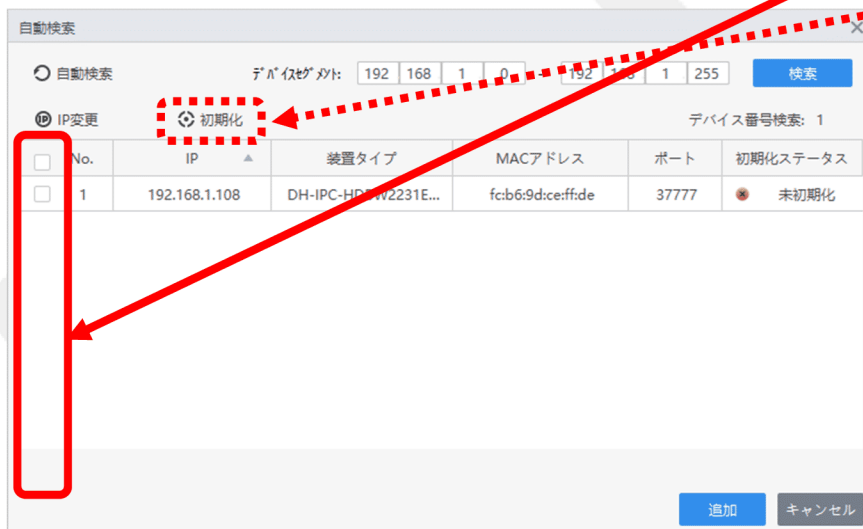
5.2.3.1. 自動検索

以下の画面が表示されるので、「自動検索」をクリックする。



5.2.3.2. デバイス初期化①

自動検索画面で、「初期化ステータス」で「未初期化」が表示されたら、「No.」にチェックを入れて、「初期化」をクリックする。



5.2.3.3. デバイス初期化②

デバイスに設定するパスワードを、「パスワード」「確認」に入力して、「パスワードセキュリティ」をクリックする。

1.パスワードを設定します。2.パスワードセキュリティ...3.デバイスのIPアドレスを...

ユーザー名: admin

パスワード:

確認:

8~32文字を入力してください。文字、数字、特殊文字を使用できます。

パスワードセキュリティ → キャンセル

5.2.3.4. デバイス初期化③

デバイス初期化に使用する、Eメールアドレスを入力したら、「IP 変更」をクリックする。

1.パスワードを設定します。2.パスワードセキュリティ...3.デバイスのIPアドレスを...

☒ メール

メールアドレスのバイン...

戻る IP変更 → キャンセル

5.2.3.5. デバイス初期化④

デバイスの IP アドレス情報を入力したら、「完了」をクリックする。

The screenshot shows a window titled '一括で初期化' (Initialize all at once) with a progress bar at 100%. Below the progress bar is a table with columns: No., デバイスS.N. (Device S.N.), IP, and MACアドレス (MAC Address). The table contains one row with the following data: No. 1, デバイスS.N. 7C00D51PAG8BDF5, IP 172.31.3.41, and MACアドレス 24:52:6a:e2:28:f5. The status '成功' (Success) is shown in a green box next to the MAC address. A red dashed box highlights the '成功' status, and a red arrow points from the '完了' (End) button at the bottom right to the '成功' status.

No.	デバイスS.N.	IP	MACアドレス	結果
1	7C00D51PAG8BDF5	172.31.3.41	24:52:6a:e2:28:f5	成功

5.2.3.6. デバイス初期化④

初期化が実行されて結果が成功である事を確認したら、「OK」をクリックする。

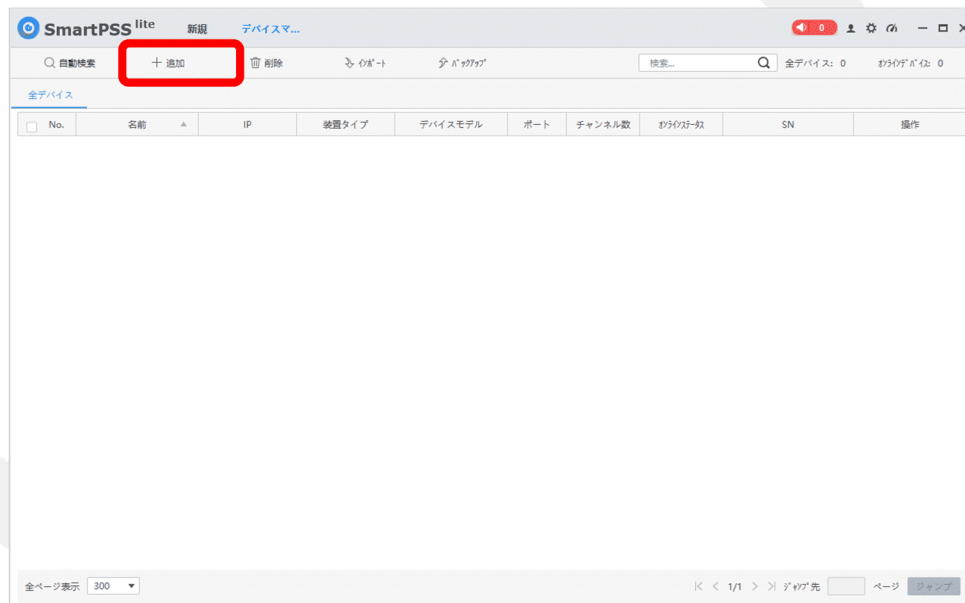
The screenshot shows the same window as above, but with the 'OK' button at the bottom right highlighted by a red dashed box. A red arrow points from the 'OK' button to the '成功' status in the table above.

5.2.4. デバイス追加(手動追加)

デバイスを手動で追加する手順となります。

5.2.4.1. デバイス手動追加①

以下の画面が表示されるので、「追加」をクリックする。



5.2.4.2. デバイス手動追加②

必要な情報を入力して「追加」をクリックすると、デバイスが登録される。

The screenshot shows a '追加されたデバイス' (Added Device) form. It has fields for 'チャンネル名' (Channel Name), 'IP/ドメイン' (IP/Domain), 'ユーザー名' (Username), '登録モード' (Registration Mode), 'ポート' (Port), and 'パスワード' (Password). A red arrow points from the top of the form down to the '追加' (Add) button at the bottom right, which is highlighted with a red box. There is also a '追加と続行' (Add and Continue) button next to it.

○IP アドレスもしくはドメイン名で設定する場合

名称	機能
チャンネル名	任意の名称
登録モード	IP/ドメイン
IP/ドメイン	デバイスの IP アドレス
ポート	37777 (デフォルト値)
ユーザー名	デバイスに登録されているユーザー名
パスワード	デバイスのユーザーのパスワード

○P2P で設定する場合

名称	機能
チャンネル名	任意の名称
登録モード	SN (P2P 対応デバイス向け)
SN	デバイスのシリアル番号
ユーザー名	デバイスに登録されているユーザー名
パスワード	デバイスのユーザーのパスワード

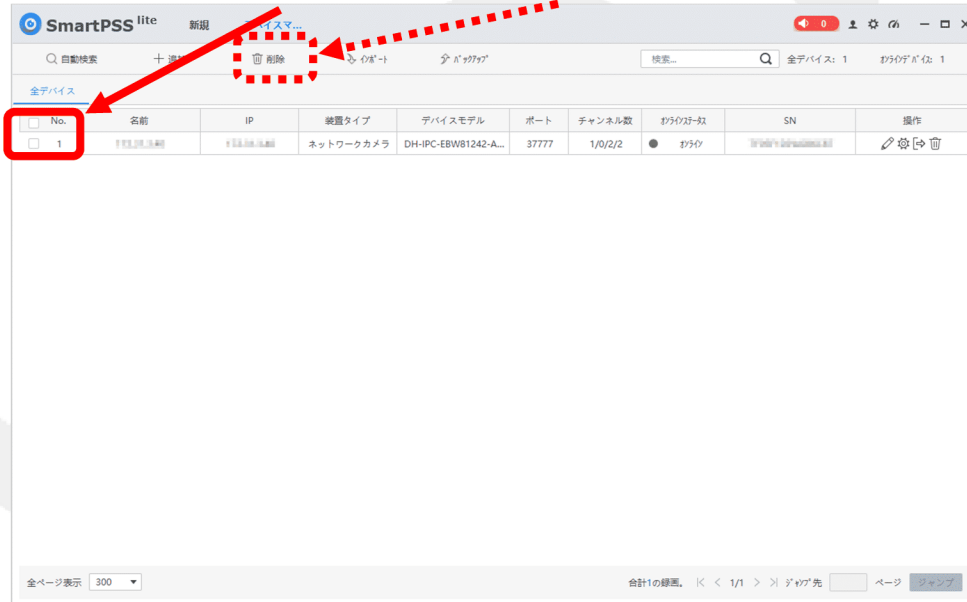
※「追加と続行」をクリックすると画面が閉じず、すぐに次のデバイスを登録ができる。

5.3. デバイス削除

登録したデバイスを削除となります。

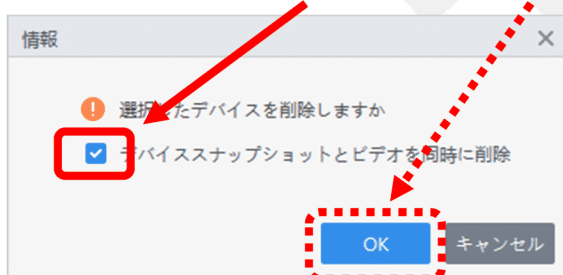
5.3.1. デバイス削除①

削除したいデバイスの「No.」をチェックし、「削除」をクリックする。



5.3.2. デバイス削除②

「デバイス・・・」の「☐」をチェックし、「OK」をクリックするとデバイスが削除される。



※チェックが入っていると、アプリケーション操作で取得したデータが全て削除される。

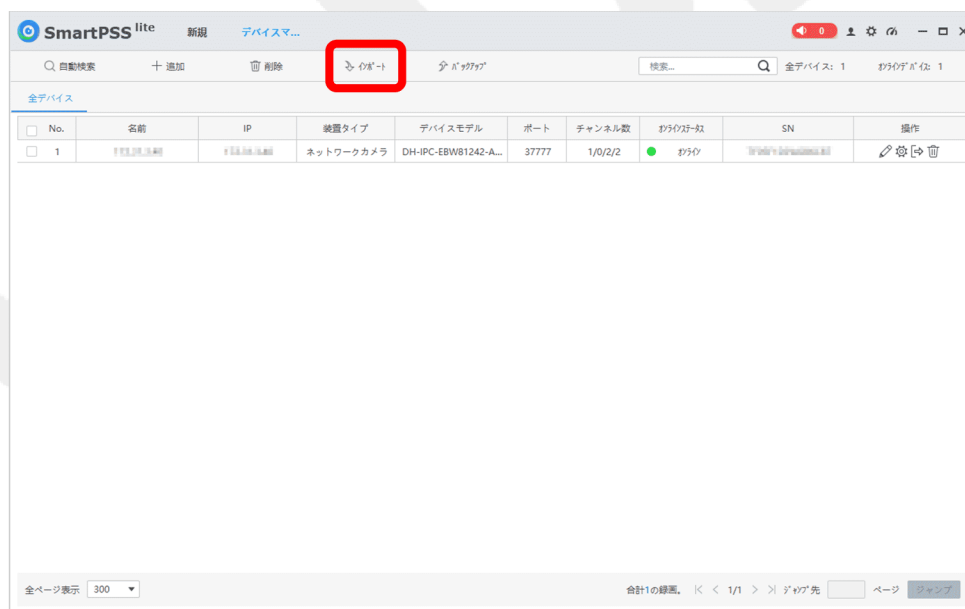
5.4. デバイス情報インポート / エクスポート

5.4.1. インポート

アプリケーションからエクスポートしたデバイス情報を登録する手順となります。
SmartPSS Lite だけでなく、SmartPSS International のデバイスリストもインポートが可能。
※インポートするファイルやパスに日本語が含まれると処理に失敗するので注意。

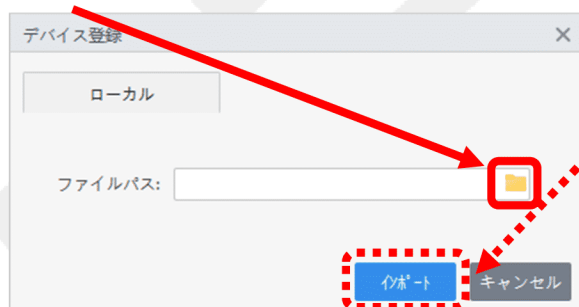
5.4.1.1. インポート①

「インポート」をクリックする。



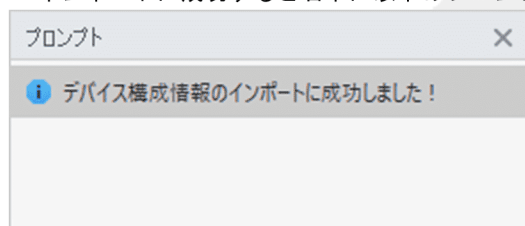
5.4.1.2. インポート②

ボタンをクリックしてインポートするファイルを指定し「インポート」をクリックする。



5.4.1.3. インポート③

インポートに成功すると右下に以下のプロンプトが表示され、デバイスマネージャ画面にデバイスが追加される。

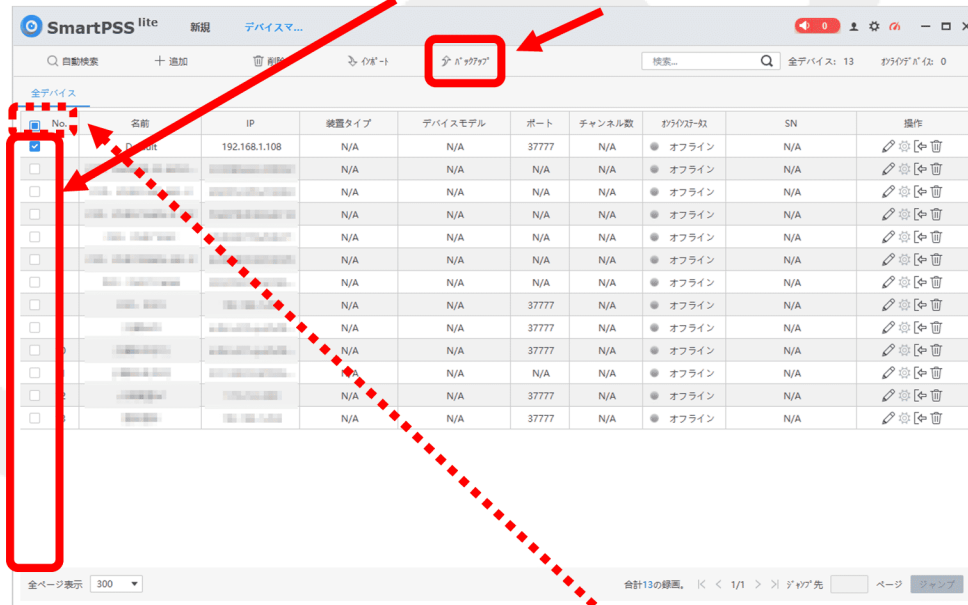


5.4.2. エクスポート

アプリケーションに登録したデバイス情報をエクスポートする手順となります。
※エクスポートするファイルやパスに日本語が含まれると処理に失敗するので注意。

5.4.2.1. エクスポート①

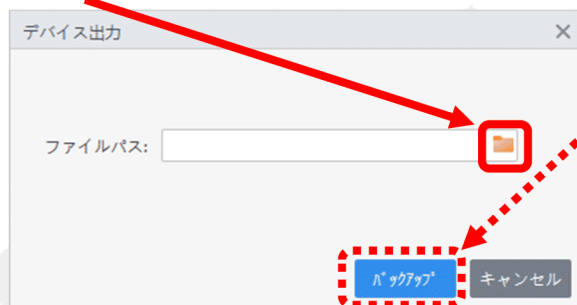
エクスポートするデバイスにチェックを入れ、「バックアップ」をクリックする。



※全てのデバイスをエクスポートする場合は左上の「No.」をクリックする。

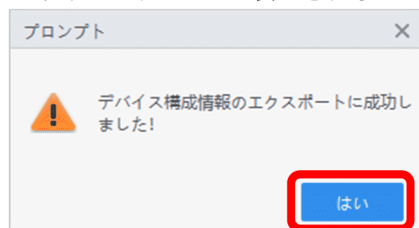
5.4.2.2. エクスポート②

ボタンをクリックしてエクスポートするファイルを指定し「バックアップ」をクリックする。



5.4.2.3. エクスポート③

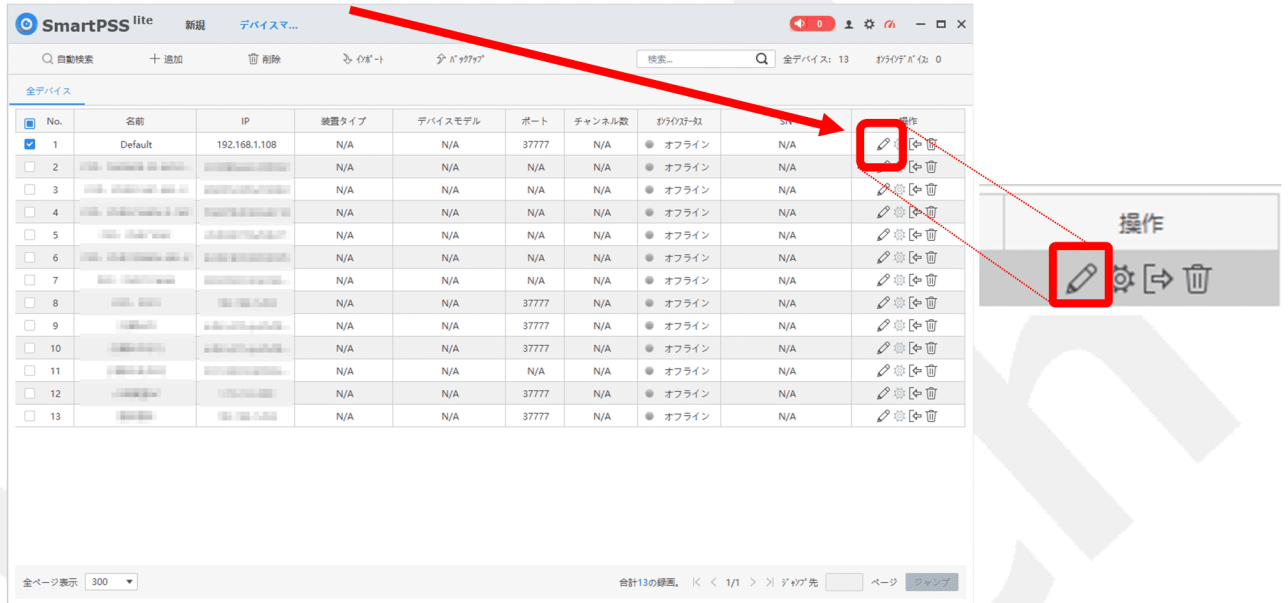
以下のメッセージが表示されるので「はい」をクリックする。



5.5. デバイス情報変更

5.5.1. 変更①

変更したいデバイスの「変更」アイコンをクリックする。



5.5.2. 変更②

以下の画面が表示されるので、必要な情報を修正して「保存」をクリックする。

※グレーアウトしていない項目のみ変更が可能となります。

The screenshot shows the '変更済みデバイス' (Modified Device) dialog box. It contains fields for 'チャンネル名' (Channel Name), 'IP/ドメイン' (IP/Domain), 'ユーザー名' (Username), '登録モード' (Registration Mode), 'ポート' (Port), and 'パスワード' (Password). The '保存' (Save) button is highlighted with a red box.

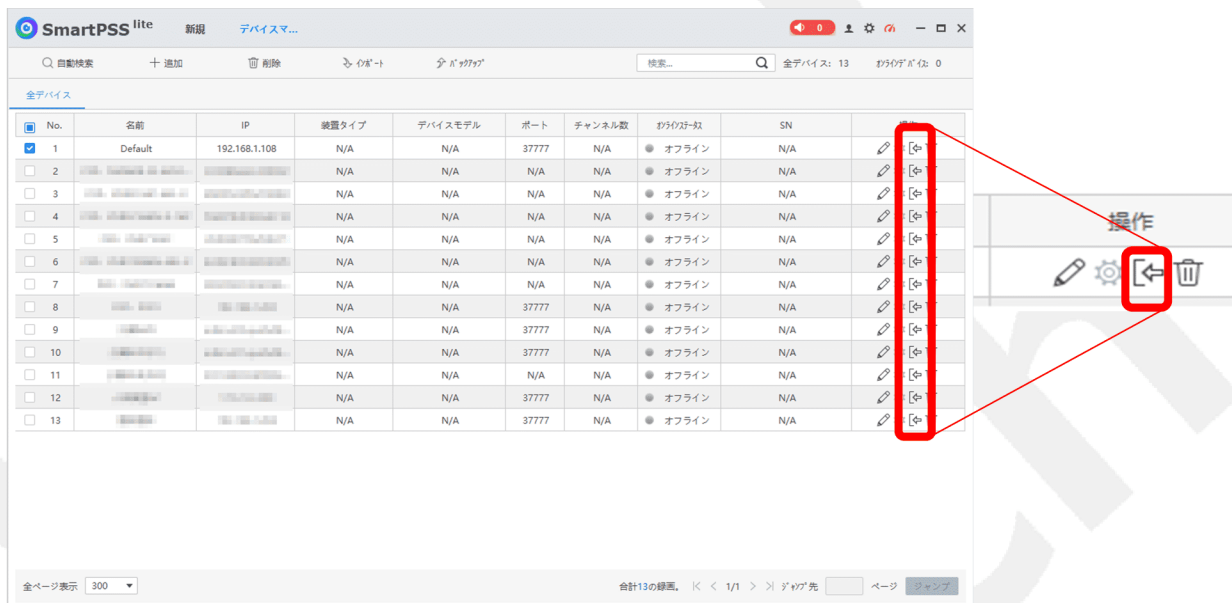
名称	機能
チャンネル名	アプリケーションで表示する名称。
IP/ドメイン	デバイスの IP アドレス、もしくは FQDN。
ポート	デバイスの TCP ポート番号。
ユーザー名	デバイスのユーザー名。
パスワード	デバイスのユーザー名が使用するパスワード。

5.6. ログイン

デバイス操作をする為にはログインが必要となります。

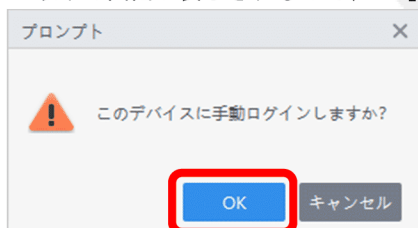
5.6.1. ログイン操作①

映像を参照したいデバイスの「手動ログイン」アイコンをクリックする。



5.6.2. ログイン操作②

以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックする。



5.6.3. ログイン操作③

オンラインステータスが「オンライン」になっていればログイン操作は終了となります。



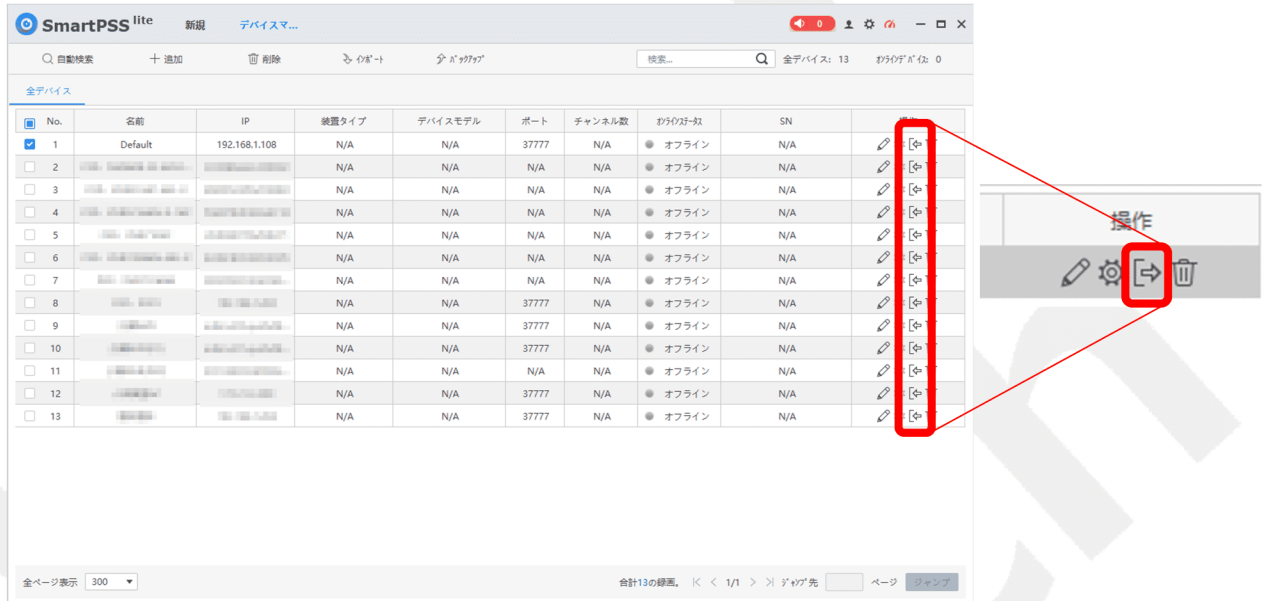
○デバイスがオンラインにならない場合の確認

1. IP アドレス / シリアル番号 / ユーザー名 / パスワードが正しく入力されている事。
2. PC から Web ブラウザで外部サイトを表示できる事。
3. DMSS でデバイスへの接続が可能である事。
4. デバイスが Internet に接続できる環境である事。

5.7. ログオフ

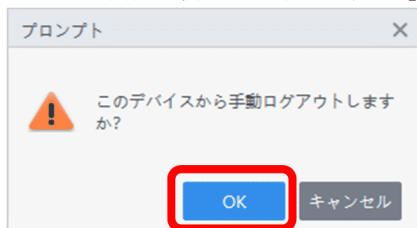
5.7.1. ログオフ操作①

オンライン中で、ログオフしたいデバイスの「手動ログイン」アイコンをクリックする。



5.7.2. ログオフ操作②

以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックする。



5.7.3. ログオフ操作③

オンラインステータスが「オフライン」になっていればオフライン操作は終了。

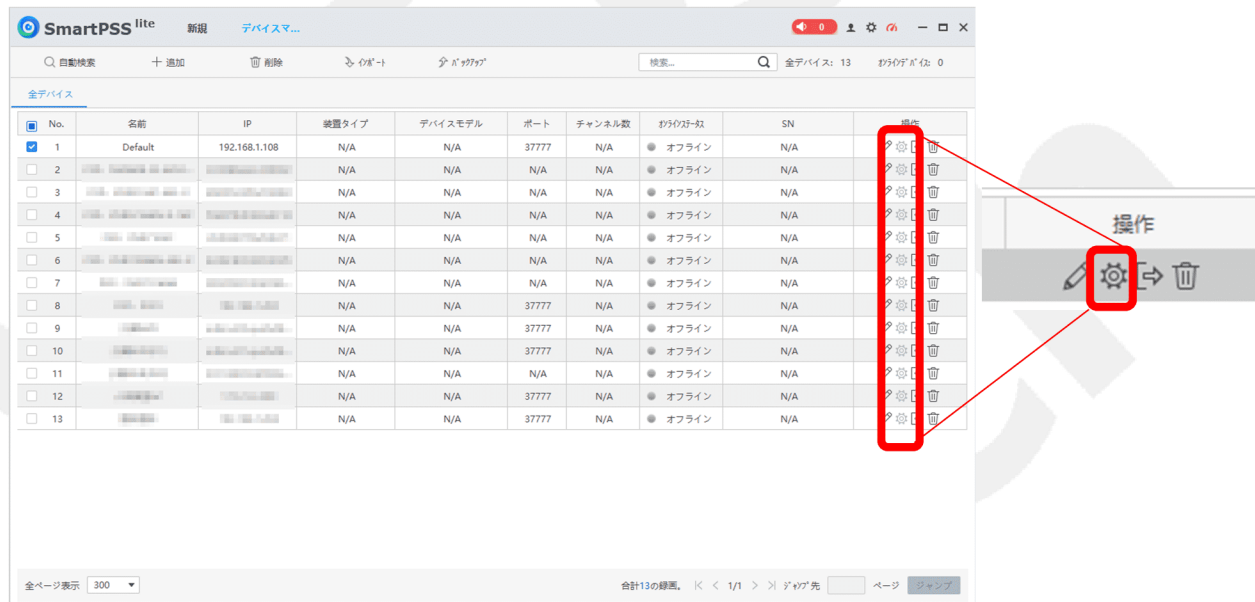


5.8. Web 設定

設定変更したいデバイスの Web 操作画面を開く機能となります。
※このアプリケーションにはデバイス設定を変更する機能はありません。
※操作を行うには、デバイスをオンラインに設定する必要があります。
※IP アドレス/P2P からも Web ブラウザでの接続が可能。

5.8.1. Web 設定①

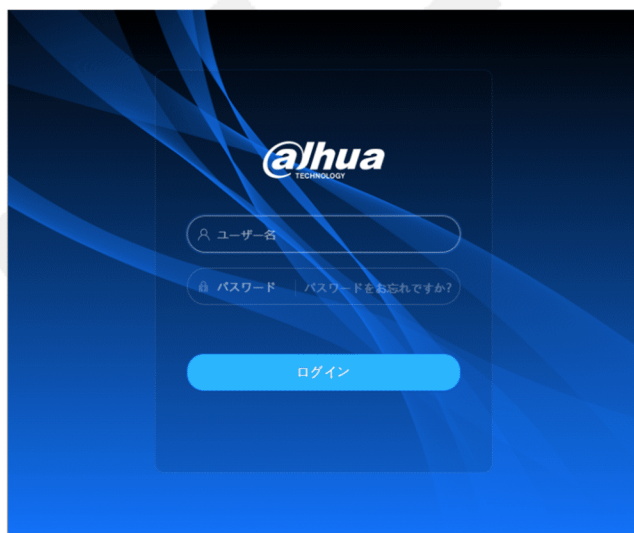
変更したいデバイスの「デバイス設定を開く」アイコンをクリックする。



No.	名前	IP	装置タイプ	デバイスモデル	ポート	チャンネル数	オンライン状態	SN	操作
1	Default	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
2	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
3	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
4	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
5	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
6	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
7	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
8	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
9	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
10	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
11	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	N/A	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
12	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除
13	192.168.1.108	192.168.1.108	N/A	N/A	37777	N/A	● オフライン	N/A	ク [設定] 削除

5.8.2. Web 設定②

Web ブラウザから WEB SERVICE の画面が表示されるので、ログインすれば設定変更が可能となる。



※表示される画面はデバイス毎に異なるので注意。

6. ライブビュー

カメラのライブ映像の操作の説明となります。操作にはデバイスへのログインが必須。

6.1. ライブビュー表示

6.1.1. ライブビュー表示①

メインメニューから「ライブビュー」をクリックする。

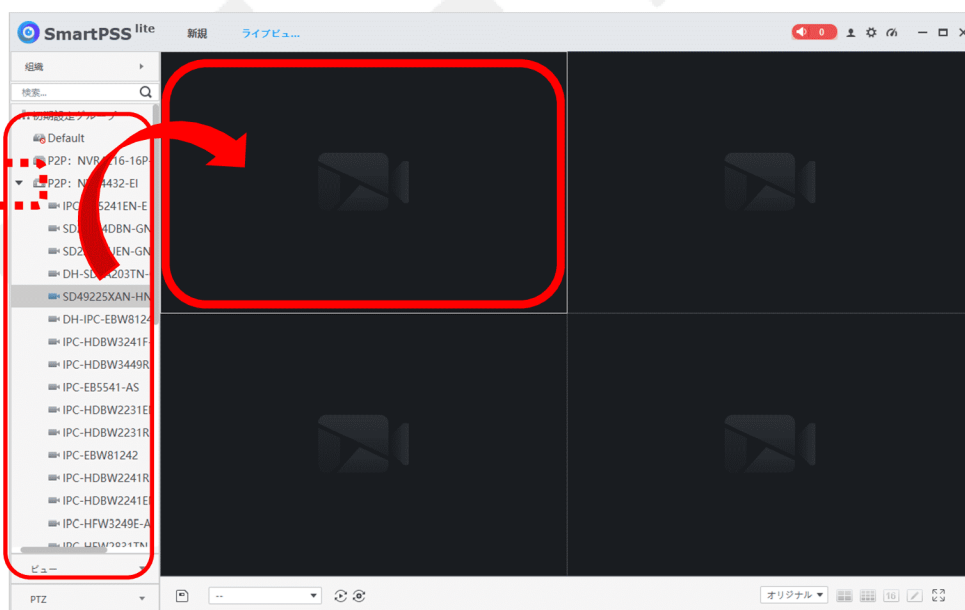


6.1.2. ライブビュー表示②

表示したいデバイスを選択し、右側のウィンドウへドラッグ&ドロップする。

※レコーダに登録されたデバイス全てを表示する場合

レコーダのアイコンを右側のウィンドウへドラッグ&ドロップする。

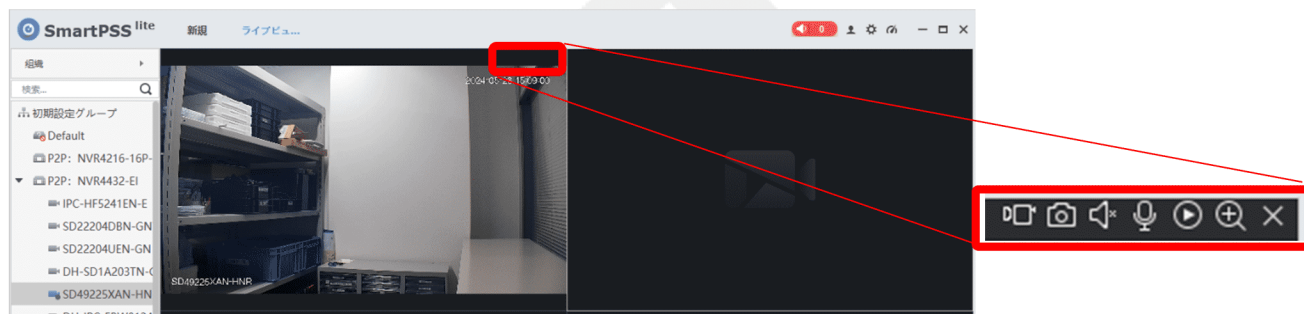


※IPカメラはリストにそのまま表示される。

※レコーダの左の「▶」をクリックすると、レコーダ登録済カメラが表示される。

6.1.3. ライブビュー画面アイコン

ライブビューの右上に表示されているアイコンの説明となります。



アイコン	名称	機能
	ローカル PC にビデオを保存する	簡易録画を行う。ボタンをクリックすると、ライブビューの録画を開始。もう一度クリックすると録画を停止し、録画データを保存する。
	スナップショット	スナップショットを取得する。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存する。
	オーディオ	表示しているカメラの音声を有効 / 無効にする。
	音声通話	表示しているカメラの音声通話を有効 / 無効にする。
	リアルタイム再生	簡易再生を行う。インスタント再生で指定した時間だけ前の映像を再生する。
	ズームイン	電子ズームを行う。マウスで範囲指定し、ホイールで拡大 / 縮小する。
	ビデオを閉じる。	表示しているライブビューを停止する。

6.1.4. ライブ映像メニュー

6.1.4.1. メニュー説明

ライブ映像で右クリックした時に表示するメニューの説明となります。

	名称	機能
×	ビデオを閉じる	表示しているライブビューを閉じる。
	全てのビデオを閉じる	全てのライブビューを閉じる。
🔊	音声開始	表示しているカメラの音声を有効 / 無効にする。
🎤	通話開始	アプリケーションと直接接続しているデバイス (IPC / レコーダ) の音声通話を有効 / 無効にする。
	リモートインターコムをオン	「通話開始」と連動してメニューが変化する。
📺	録画開始	簡易録画を行う。ボタンをクリックすると、ライブビューの録画を開始。もう一度クリックすると録画を停止し、録画データを保存する。
📷	スナップショット	スナップショットを取得する。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存する。
	トリプルスナップショット	同時に 3 枚のスナップショットを取得する。
▶	インスタント再生開始	簡易再生を行う。インスタント再生で指定した時間だけ前の映像を再生する。
	再生	再生画面でそのデバイスを開く。
	マルチスクリーントラック	6.1.4.2 で説明。
	ウィンドウスケール	6.1.4.3 で説明。
	ストリーム種別	6.1.4.4 で説明。
	画像調整	表示している画面の画質調整を行う。
	IVS オーバーレイ	6.1.4.5 で説明。
	フルスクリーン	表示しているライブビューを全画面表示する。

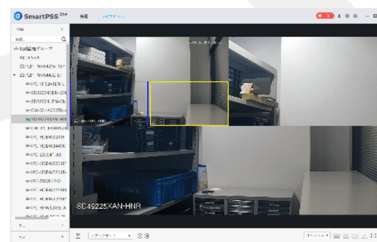
6.1.4.2. マルチスクリーントラック

有効にすると1つの映像を複数のブロックに分割し、1つは映像全体 / 複数のブロックは一部のズームイン映像を表示する事ができる。

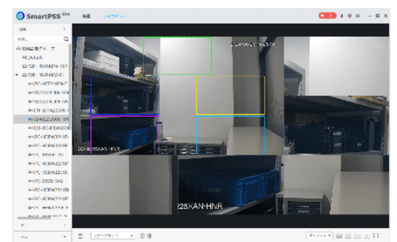


「ノーマルモード」を選択すると、通常の表示に戻る。

1+3 モード



1+5 モード



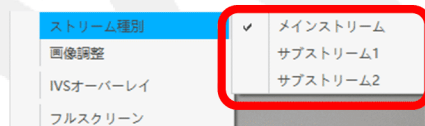
6.1.4.3. ウィンドウスケール

メニューで選択した比率で映像を表示する。

「オリジナルモード」は、そのカメラの本来の映像が表示される。

6.1.4.4. ストリーム種別

選択したストリームを画面に表示する。



※レコーダのサブストリームは、レコーダ側で有効に設定しないと表示されないのに注意。

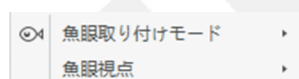
6.1.4.5. IVS オーバーレイ

画面内にイベント検知用のラインやボックスを表示する。



6.1.4.6. 補足：フィッシュアイ用メニュー

フィッシュアイカメラを表示した場合だけ、以下のメニューが追加される。



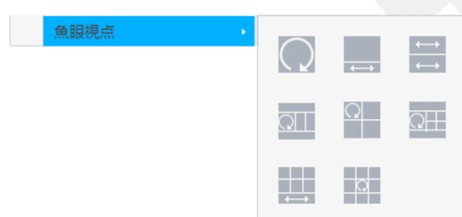
6.1.4.6.1. 魚眼取り付けモード

フィッシュアイカメラの取付位置（天井取付 / 壁面取付 / 平置き）を設定する。



6.1.4.6.2. 魚眼始点

フィッシュアイカメラの表示を設定する（取付位置の設定で表示画面は変更される）。



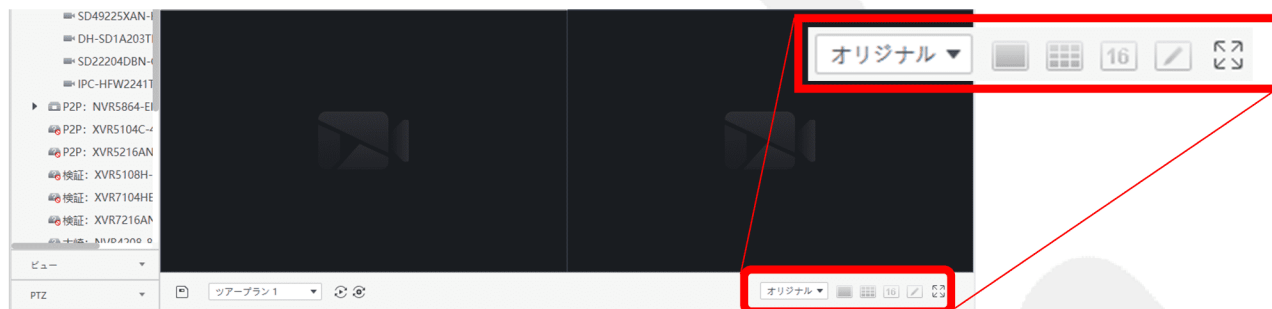
オリジナル (魚眼表示)	360 度パノラマ x1 サブ画面 x1	360 度パノラマ x2
オリジナル x1、360 度パノラ マ x2、サブ画面 x2	オリジナル サブ画面 x3	オリジナル x1、360 度パノラ マ x2、サブ画面 x4
サブ画面 x6 360 度パノラマ x1	オリジナル サブ画面 x8	

6.1.5. 映像表示

ライブ映像の表示変更手順の説明となります。

6.1.5.1. 表示変更

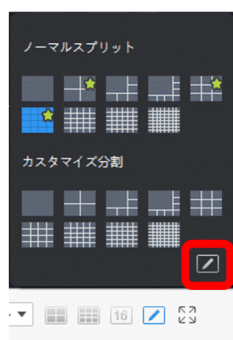
画面左下のアイコンをクリックする事で、画面の表示を変更する。



アイコン	機能		
オリジナル ▾	映像の表示比率の変更を行う。オリジナル=カメラ本来の映像。フルスクリーン=画面全体にカメラ映像を表示。○：○=指定の比率で表示。		
	単画面表示。		カスタム映像表示。次章で説明。
	9 画面表示。		フルスクリーン表示。
	16 画面表示。		

6.1.5.2. カスタム映像

表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更される。



・ノーマルスプリット

標準で登録された画面表示。

1 段目：単画面、4 画面、6 画面、8 画面、9 画面

2 段目：16 画面、25 画面、36 画面、64 画面

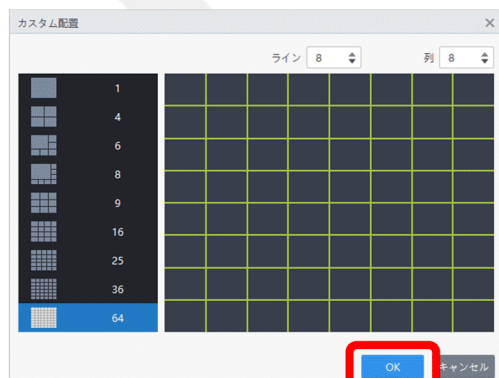
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示される。

・カスタマイズ分割

カスタム画面が表示される。 をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できる。

6.1.5.3. カスタム分割画面

左側のアイコンをクリックして修正する画面を選択する。右側の四角の線をクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除される。変更した画面は「OK」をクリックして保存され、前章の「カスタマイズ分割」に表示される。



6.1.6. グループ作成

6.1.6.1. グループ作成①

グループを右クリックし、「新しいグループ」をクリックする。



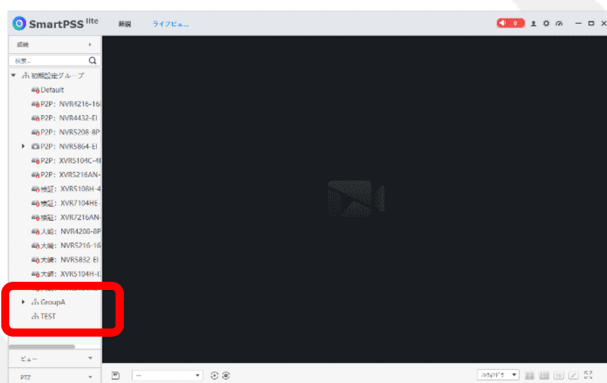
6.1.6.2. グループ作成②

グループの名前を入力して、「保存」をクリックする。



6.1.6.3. グループ作成③

グループが作成される。グループには登録したデバイスを移動する事が可能。

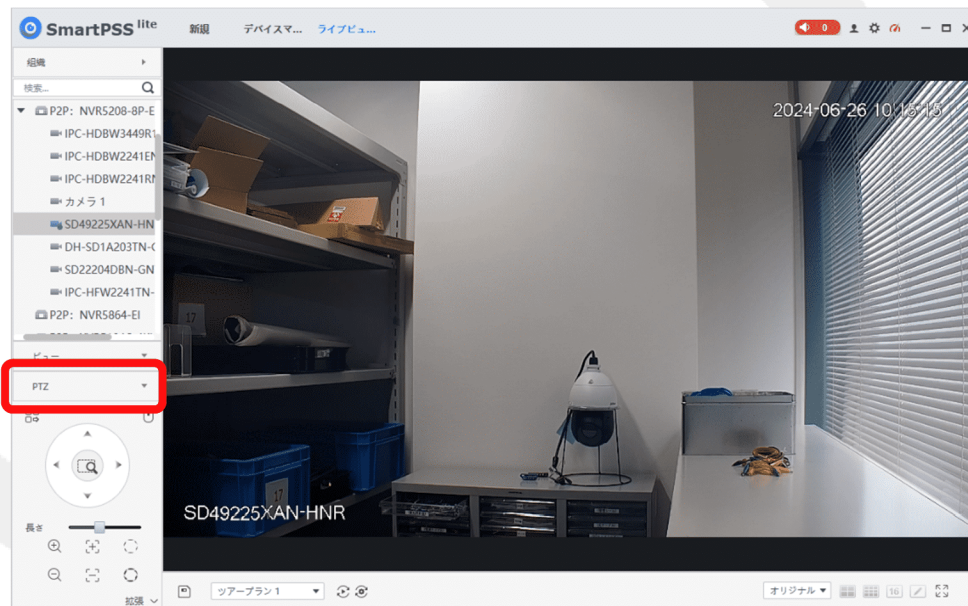


6.2. PTZ 操作

PTZ カメラの操作方法の説明となります。

6.2.1. メニュー表示

画面左下の「PTZ」をクリックすると、PTZ コントロールが表示される。



6.2.2. PTZ コントロール

PTZ コントロールのボタンの説明となります。



アイコン	名称	機能
	PTZ メニュー	OSD メニューを開く。
	マウスシミュレーター	マウスを動かしてカメラを動かす。
	移動ボタン	ボタンを押した方向にカメラを動かす。
	3D ポジショニング	マウスで指定したポイントにカメラを動かす。
	移動速度設定バー	カメラの移動速度を設定する(左:遅、右:早)。
	ズームプラス	ズームイン。
	ズームマイナス	ズームアウト。
	フォーカスプラス	フォーカスイン。
	フォーカスマイナス	フォーカスアウト。
	しぼりプラス	しぼりを開く。
	しぼりマイナス	しぼりを閉じる。

6.2.3. PTZ メニュー

OSD メニューを表示して操作する。



アイコン	名称	機能
	PTZ コントロール	PTZ コントロールに戻る。
	移動ボタン	ボタンを押した方向に OSD メニューのカーソルを動かす。
	OK ボタン	OSD メニューの決定ボタン。
	メニューを開く	OSD メニューを表示する。
	メニューを閉じる	OSD メニューを終了する。

6.3. PTZ 設定

PTZ カメラの固有機能の説明となります。機能に対応していない機器で実行しても動作はしないので注意。

6.3.1. PTZ コントロール (拡張)

「拡張」をクリックする事で、PTZ コントロールの拡張メニューを表示する。
実行手順は各章に記載する。



アイコン	名称	機能
	機能選択	実行する機能(プリセットポイント / ツアー / パン / スキャン / パターン / ワイパー)を選択する。
	番号選択	実行する番号(プリセット番号等)を選択する。
	機能実行	選択した「番号」の「機能」を実行する。
	機能設定	選択した「番号」の「機能」を登録する。

6.3.2. プリセットポイント

プリセットの登録・削除及び実行を行う。



1) プリセット実行

①機能選択

「プリセットポイント」を選択する。

②番号選択

実行するプリセット番号を選択する。
登録済みのプリセットは「プリセット番号+プリセット名」で表示される。

③機能実行

をクリックすると、カメラがプリセット位置へ移動する。

2) プリセット設定

④登録削除

手順③で をクリックする。

⑤プリセット設定

が表示される。

実行したい機能をクリックする。

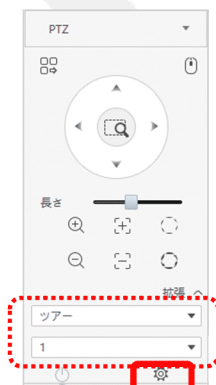
- 前のメニューに戻る
- プリセットを登録する
- プリセットを削除する

6.3.3. ツアー

ツアー機能は設定したプリセット情報を順番に実行する機能。カメラに登録した情報を呼び出せず、アプリケーション側に独自に登録した情報を実行する。ツアーの実行にはプリセット情報の登録が必要。

6.3.3.1. ツアー登録①

ツアーの登録を行う。



1) ツアー登録

①機能選択

「ツアー」を選択する。

②ツアー登録

をクリックすると、ツアー登録画面が表示される。

6.3.3.2. ツアー登録②

以下の画面が表示されるので、必要なプリセット情報を登録して「OK」をクリックする。



1) ツアー登録

① ツアーNO

登録するツアー番号を選択する(最大8個)。

② ツアー名

表示するツアー名を入力する。

③ プリセット情報登録

プリセットポイント 登録済みプリセットを選択する。

時間(秒) プリセットを表示する時間を設定する。

操作 プリセットを「+」で追加、「×」で削除する。

6.3.3.3. ツアー実行

ツアーの実行を行う。



1) ツアー実行

① 機能選択

「ツアー」を選択する。

② 番号選択

実行するツアー番号を選択する。

登録済みのツアーは「ツアー番号+ツアー名」で表示される。

③ 機能実行

実行ボタンをクリックすると、ツアーを実行する。

もう一度クリックするとツアーは終了する。

6.3.4. パン

パンはカメラが一定の速度で左に360度旋回を行う機能。



1) パン実行

① 機能選択

「パン」を選択する。

② 機能実行

実行ボタンをクリックすると、カメラが一定の速度で左に360度旋回を開始する。

もう一度クリックするとパンは終了する。

6.3.5. スキャン

スキャンは左右の始点と終点を登録し、その間でカメラを動かす機能。



1) スキャン実行

①機能選択

「スキャン」を選択する。

②始点終点登録

監視する始点と終点を登録する。

カメラを左方向に回転させて始点まで動かしたら

← をクリックする。

カメラを右方向に回転させて終点まで動かしたら

→ をクリックする。

③機能実行

電源ボタン をクリックすると、カメラが一定の速度で設定した範囲を巡回する。
もう一度クリックするとスキャンは終了する。

6.3.6. パターン

パターンはカメラの手動操作の動きを記録し、それと同じ動きを実行する機能。



1) パターン実行

①機能選択

「パターン」を選択する。

②番号選択

実行するパターン番号を選択する。

パターンは登録済みも未登録も、番号しか表示されないので注意。

③機能実行

電源ボタン をクリックすると、登録したパターンが実行される。もう一度クリックするとパターンは終了する。

2) パターン登録

④パターン登録 1

手順③で 記録 をクリックする。

⑤パターン登録 2

カメラを手動操作し、動作パターンを登録する。登録が終了したら、もう一度 記録 をクリックする。

6.3.7. ワイパー

ワイパー搭載機器のみ、ワイパーを動かす機能。



1) ワイパー実行

①機能選択

「ワイパー」を選択する。

②機能実行

電源ボタン をクリックすると、ワイパーが稼働する。
もう一度クリックするとワイパーの動作が停止する。

6.4. ツアー / ビュー

6.4.1. ツアー / ビュー

ライブ映像を指定した順序で表示するツアーと、ライブ映像を指定した組み合わせで表示するビューの説明となります。

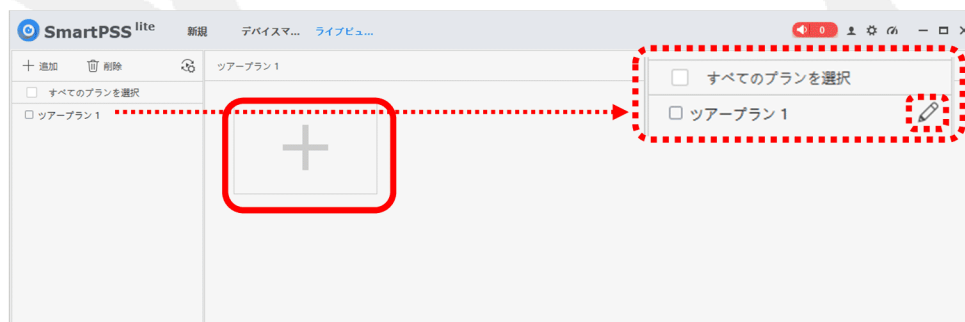
6.4.1.1. ツアー登録①

画面下の  をクリックする。



6.4.1.2. ツアー登録②

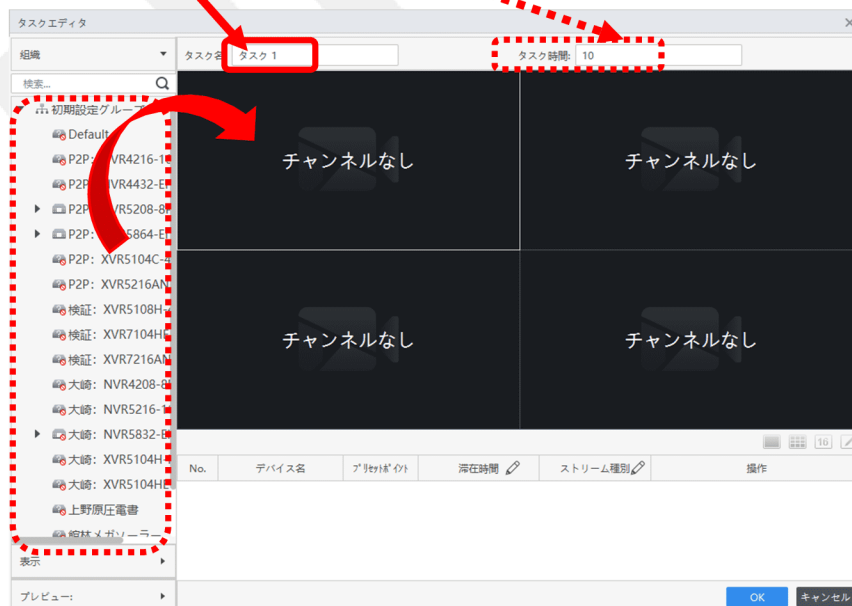
画面右の「+」をクリックすると、ツアー登録画面が表示される。



「ツアー名」にマウスを近付けると、右端にアイコンが表示される。このアイコンをクリックすると、「ツアー名」が変更できる。

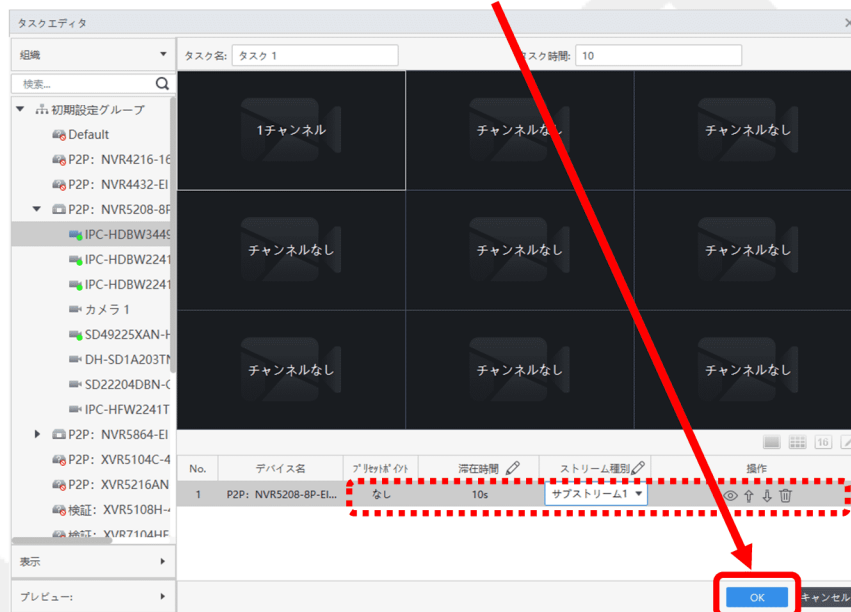
6.4.1.3. ツアー登録③

「タスク名」とツアーを表示する時間(秒)を入力し、画面左から表示したいデバイスを表示するチャンネルへドラッグする。



6.4.1.4. ツアー登録④

ツアーで表示する映像の詳細を設定し、「OK」をクリックする。

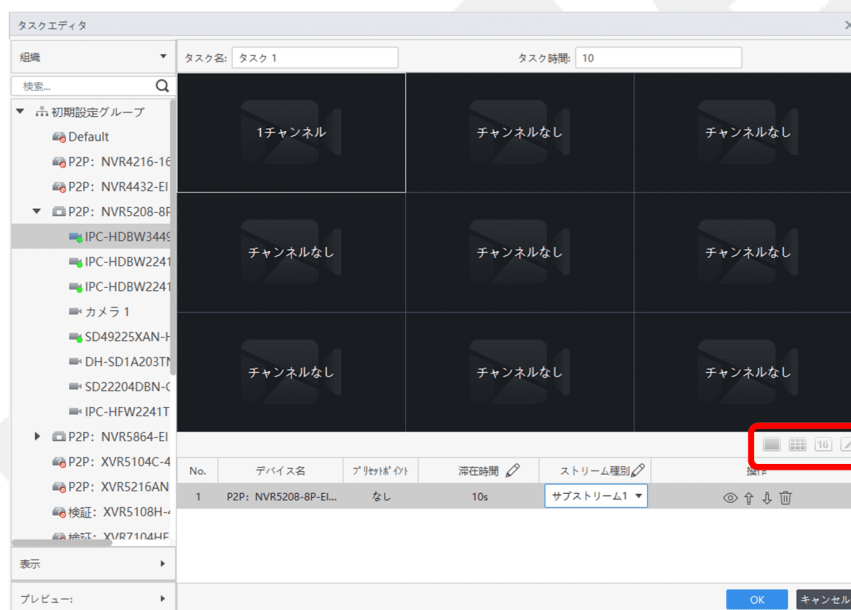


- ・プリセットポイント
PTZ カメラの場合は表示するプリセット番号を設定できる(未設定も可能)。
- ・滞在時間
表示する時間を5秒以上で表示する。
- ・ストリーム種別
メイン / サブストリームを設定する。
- ・操作
 - 選択した行のプレビュー
 - 選択した行を上げる
 - 選択した行を下げる
 - 選択した行を削除

※1つのチャンネルに複数のカメラを登録して表示する事も可能。

6.4.1.5. ツアー登録⑤

画面構成を変更する場合は右下のボタンをクリックする。



- ・ 単画面表示にする。
- ・ 9画面表示にする。
- ・ 16画面表示にする。
- ・ 画面構成をカスタマイズする。
次章を参照。

6.4.1.6. 表示画面変更

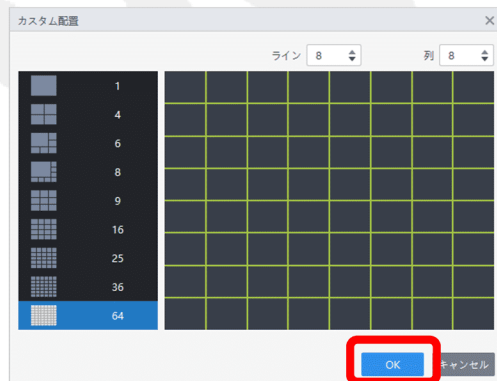
表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更される。



- ・ノーマルスプリット
標準で登録された画面表示。
1 段目：単画面、4 画面、6 画面、8 画面、9 画面
2 段目：16 画面、25 画面、36 画面、64 画面
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示される。
- ・カスタマイズ分割
カスタム画面が表示される。🌟をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できる。

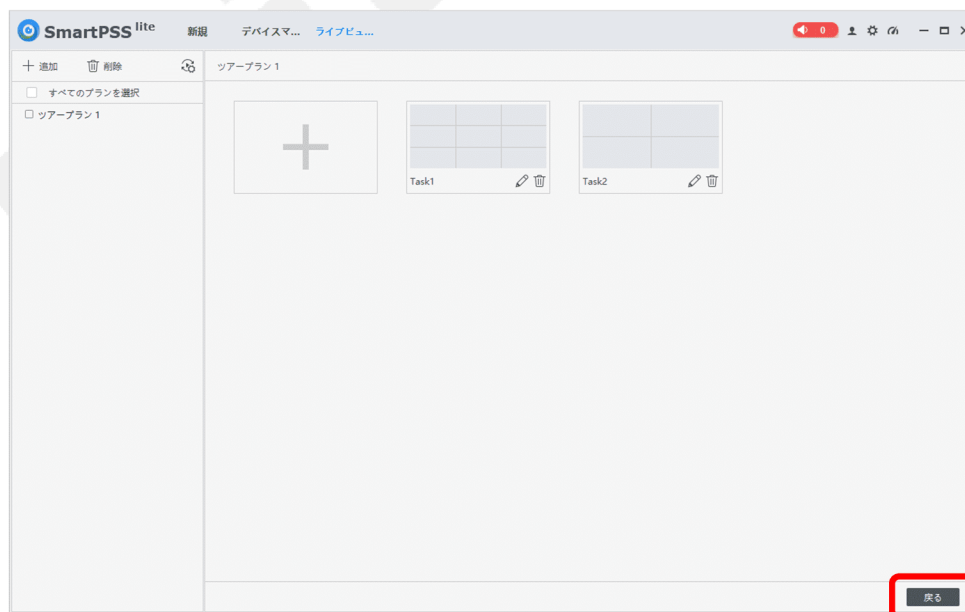
6.4.1.7. カスタム分割画面作成

左側のアイコンをクリックして修正する画面を選択する。右側の四角の線ををクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除される。変更した画面は「OK」をクリックして保存する。変更された画面は前章の「カスタマイズ分割」に表示される。



6.4.1.8. ツアー登録⑥

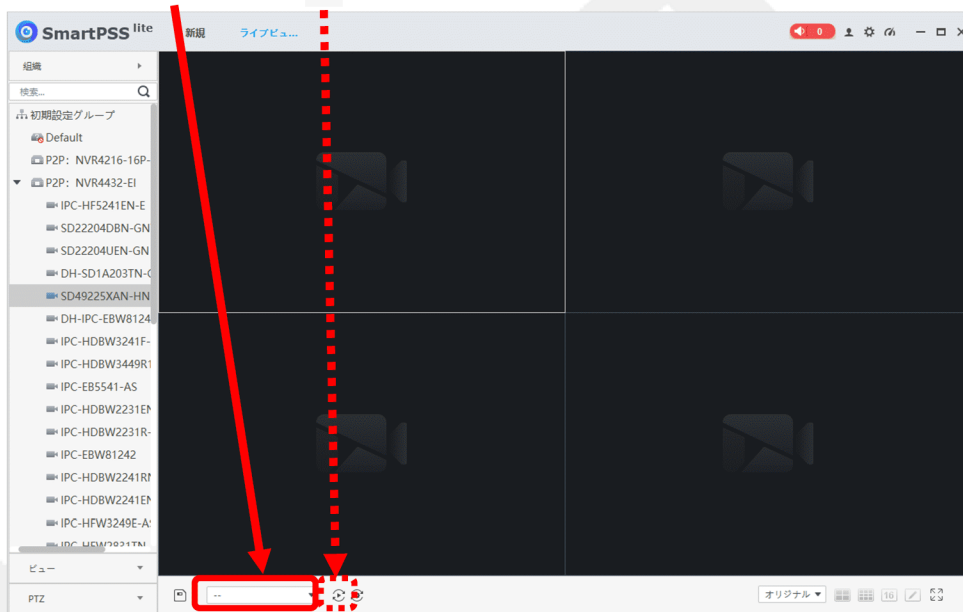
ツアーを登録したら、「戻る」をクリックする。



※ツアーは複数のタスクを作成して表示する事が可能。

6.4.1.9. ツアー実行

実行するツアーを選択し、 をクリックするとツアーが開始される（もう一度クリックすると停止）。

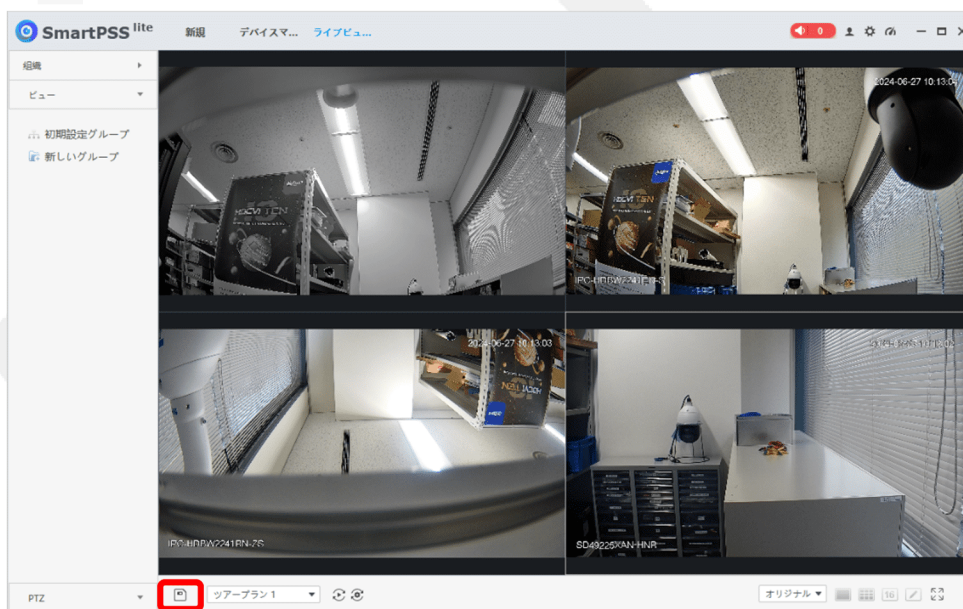


6.4.2. ビュー

ライブビュー画面の表示を保存し、いつでも呼び出せるようにする機能。

6.4.2.1. ビュー登録①

 をクリックする。



6.4.2.2. ビュー登録②

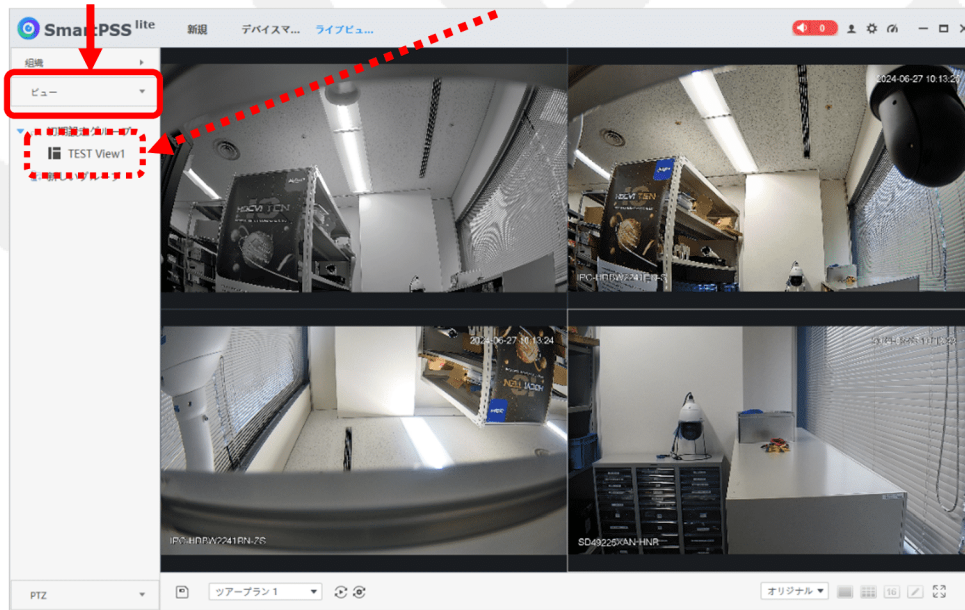
必要な情報を入力し、「OK」をクリックしてビューを保存する。



- ・ビュー名
ビューの名前を入力する。
- ・グループ名
ビューを登録するグループ名を選択する。
- ・モニタープラン保存先
左のチェックボックスをチェックし、ツアーを選択するとビューをツアーのタスクとしても登録する。

6.4.2.3. ビュー表示

「ビュー」をクリックして、登録されたビューをダブルクリックすると、登録した画面が表示される。



※デバイスがオンラインでないと、映像の表示はできないので注意。

6.4.3. ビューグループ

6.4.3.1. ビューグループの登録①

「ビュー」をクリックして、「新しいグループ」をクリックする。



6.4.3.2. ビューグループの登録②

「名前」を入力して「保存」をクリックすると、指定した名前のグループがビューの画面に登録される。



6.5. E-MAP

ライブビュー画面にマップ画像を登録し、そこにデバイスを配置する機能となります。

6.5.1. マップ登録

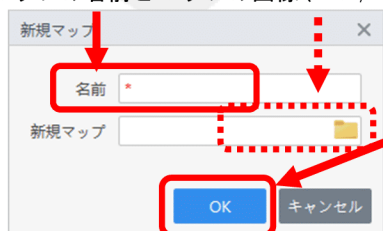
6.5.1.1. マップ登録①

「初期設定グループ」を右クリックし、「新規マップ」をクリックする。



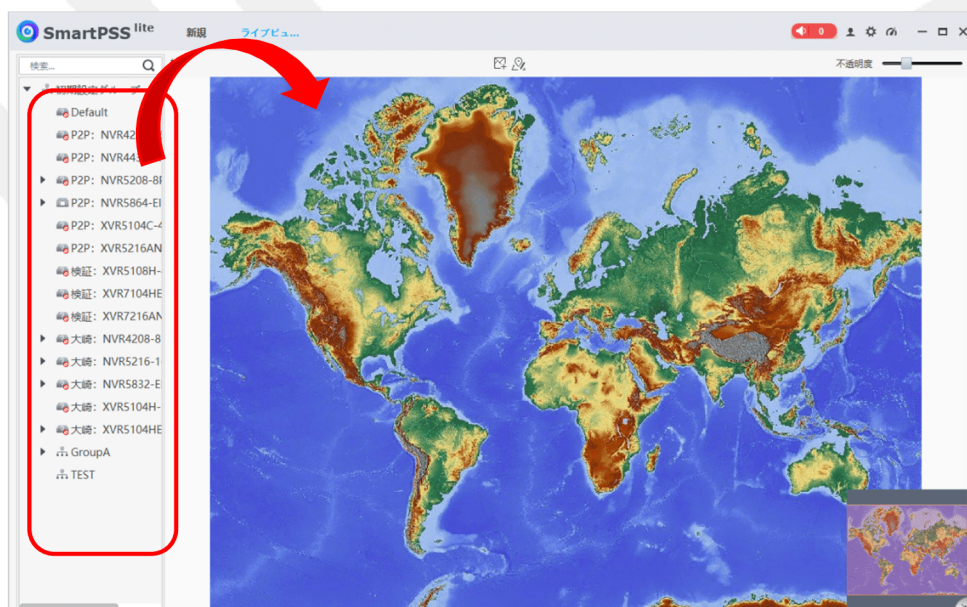
6.5.1.2. マップ登録②

マップの名前とマップの画像 (PNG / JPG / BMP) を指定して「OK」をクリックする。



6.5.1.3. マップ登録③

編集可能な状態で表示されるので、左から登録したいデバイスをドラッグして配置する。



6.5.1.4. マップ登録④

登録したデバイスにマウスを近付けると青くなる。アイコンをドラッグすると移動。
黄色の枠は3つのピンで画角の広さと大きさが調整できる。



※デバイスの削除はアイコンの右上の「×」をクリックする。

6.5.1.5. マップ登録⑤

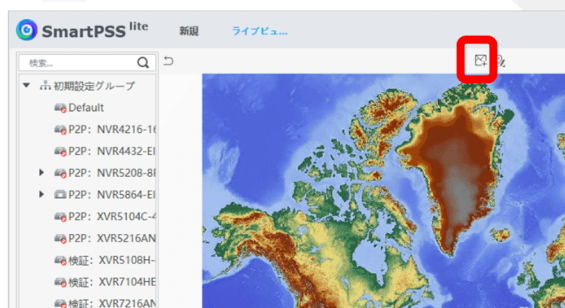
左上の  をクリックすると編集が終了する。



6.5.2. サブマップ登録

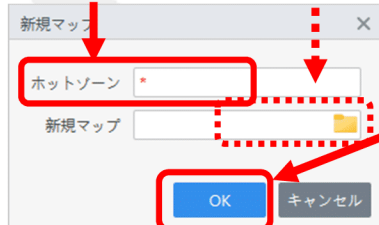
6.5.2.1. サブマップ登録①

 アイコンをクリックする。



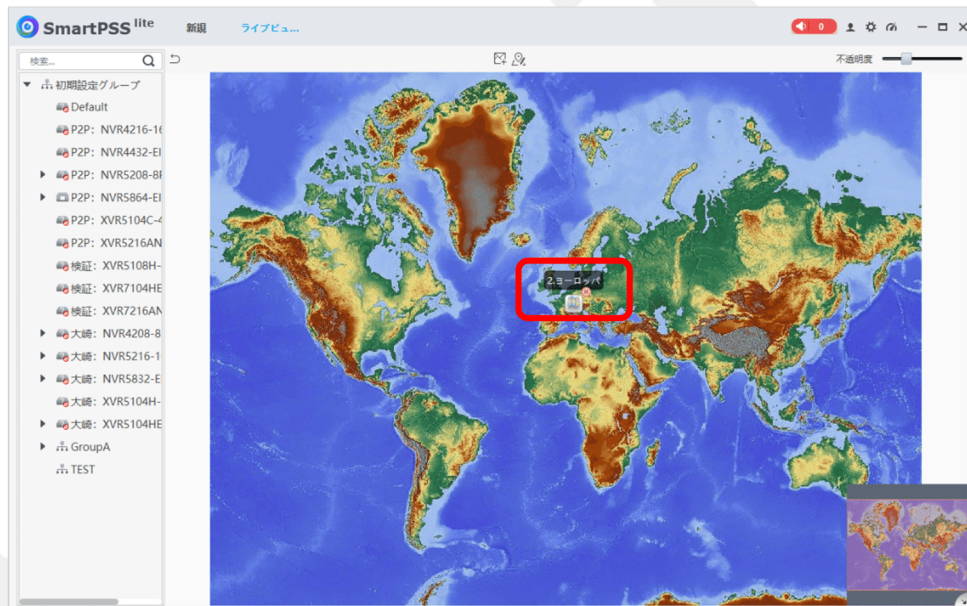
6.5.2.2. サブマップ登録②

マップの名前とマップの画像 (PNG / JPG / BMP) を指定して「OK」をクリックする。



6.5.2.3. サブマップ登録③

アイコンが登録されるので、配置したい場所にドラッグして移動させる。
左上の  をクリックすると編集が終了する。

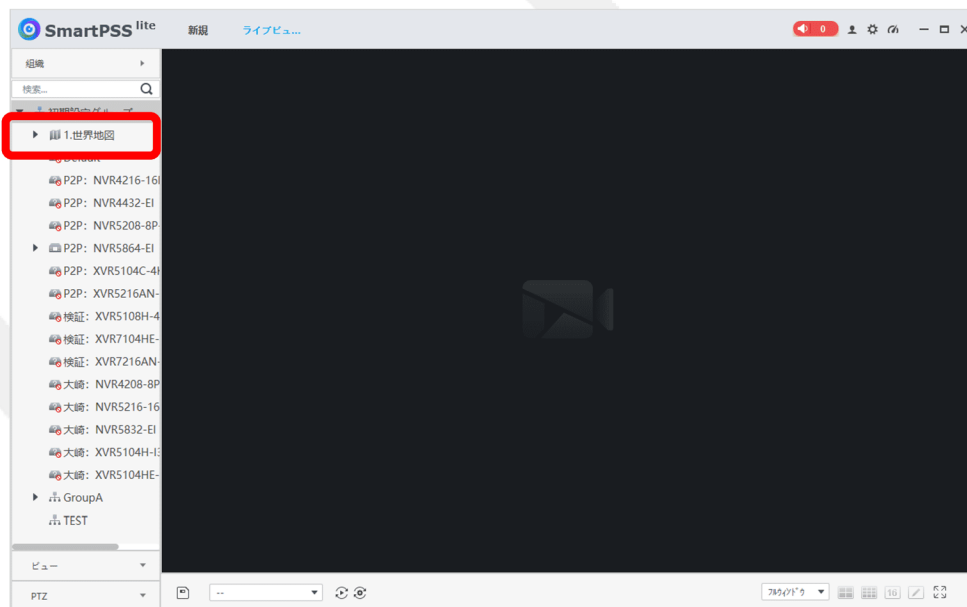


※アイコンの削除はアイコンの右上の「×」をクリックする。

6.5.3. E-MAP 表示

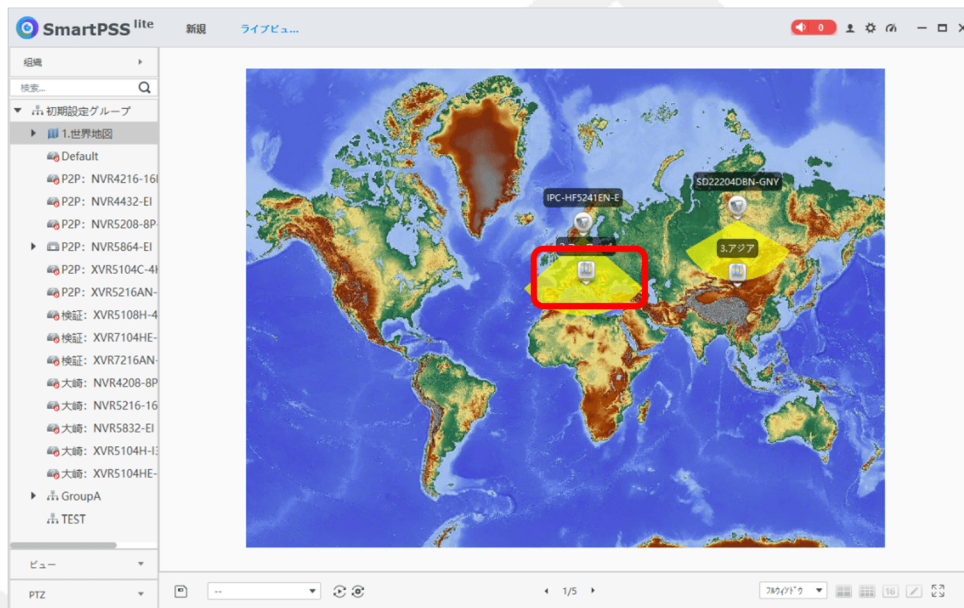
6.5.3.1. マップ表示①

ライブビューを1画面にして、トップのマップをダブルクリックする。



6.5.3.2. サブマップ表示①

マップを表示し、サブマップのアイコンをクリックする。



6.5.3.3. サブマップ表示②

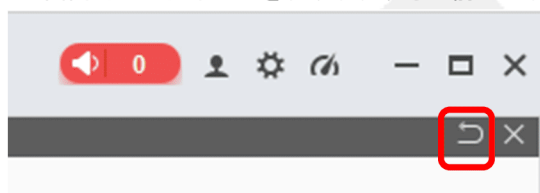
サブマップが表示される。

サブマップも編集する事で、カメラ配置やその下にマップを置く事ができる。



6.5.3.4. サブマップ表示③

画面右上のアイコンをクリックすると前のマップに戻る。



6.5.4. マップ編集

マップを編集する場合、マップを右クリックし、表示されたメニューから「編集」をクリックする。



6.5.5. E-MAP 使用方法

6.5.5.1. マップ表示

ライブビュー画面から表示したいE-MAP マップのアイコンをダブルクリックする。



※1つのマップを複数画面で表示しても、画面間での連携は行わないので注意。

6.5.5.2. デバイス表示

デバイスの状態により、アイコンの表示が変化する。



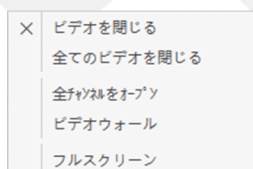
デバイスがオンライン



デバイスがオフライン

6.5.5.3. メニュー

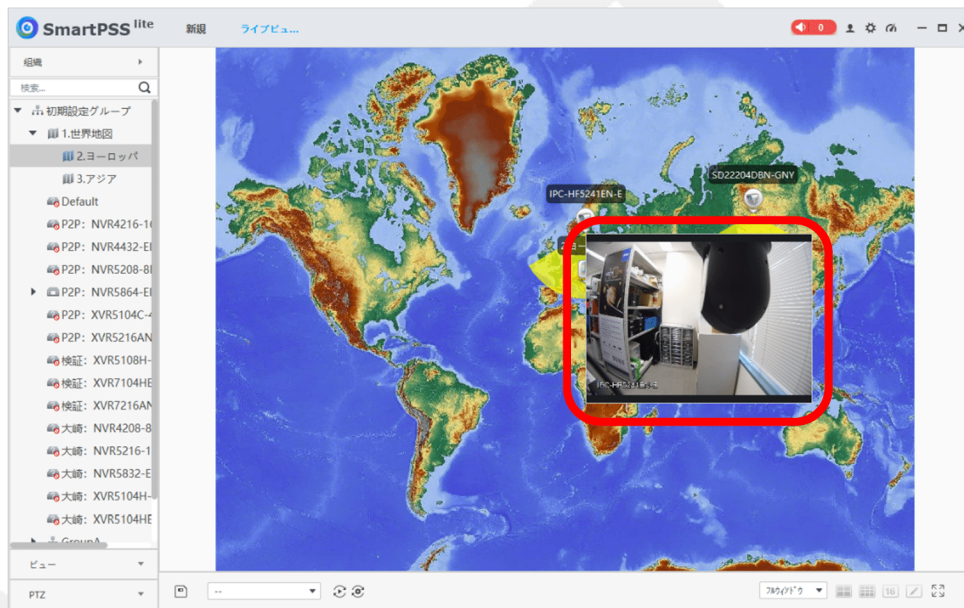
E-MAP 上で右クリックして表示されるメニューについて説明する。



名称	機能
ビデオを閉じる	表示しているマップとライブ映像を閉じる。
全てのビデオを閉じる	全てのマップとライブ映像を閉じる。
全チャンネルをオープン	6.5.5.5 全チャンネルオープン を参照。
ビデオウォール	6.5.5.6 ビデオウォール を参照。
フルスクリーン	表示しているライブビューを全画面表示する。

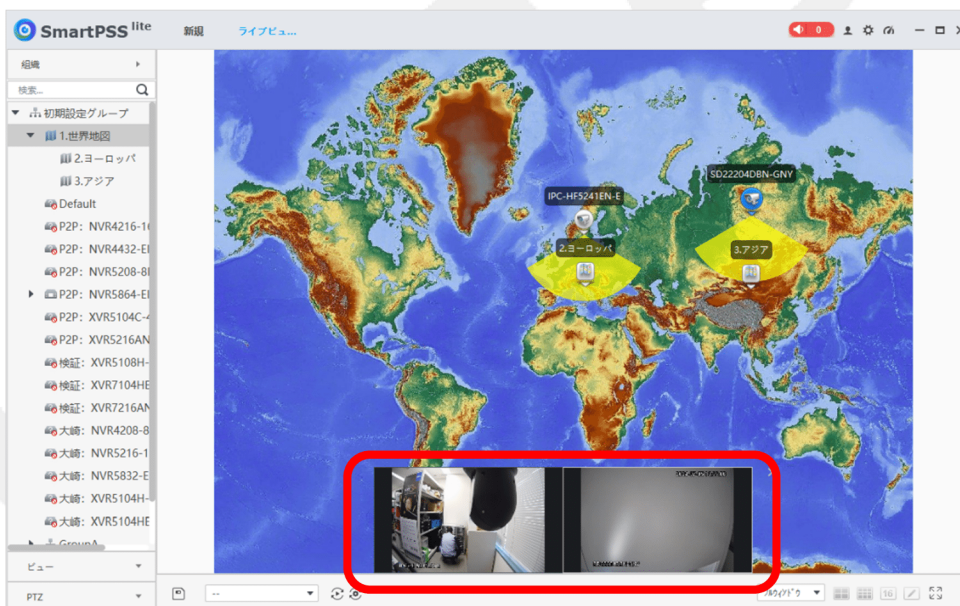
6.5.5.4. ライブ映像表示（サブストリーム）

アイコンにマウスを近づけて数秒すると、ライブ映像(サブストリーム)が表示される。



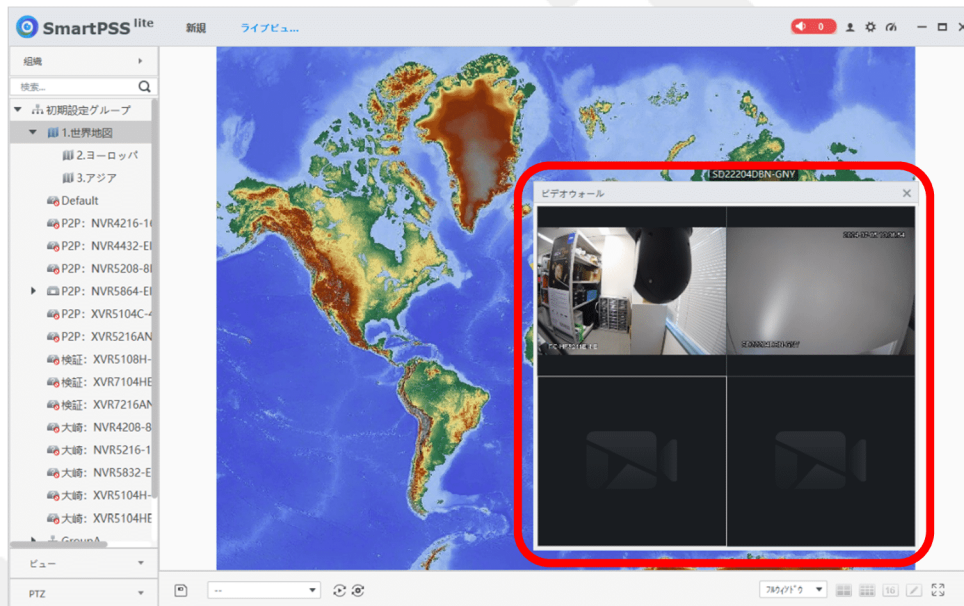
6.5.5.5. 全チャンネルオープン

メニューから「全チャンネルオープン」をクリックすると、マップ下にマップに登録されたデバイス全てのライブ映像(サブストリーム)が表示される。



6.5.5.6. ビデオウォール

メニューから「ビデオウォール」をクリックすると、マップに登録されたデバイス全てのライブ映像（サブストリーム）が別ウィンドウで表示される。



7. 再生

録画データ再生の操作の説明となります。操作にはデバイスへのログインが必要。

7.1. 録画再生

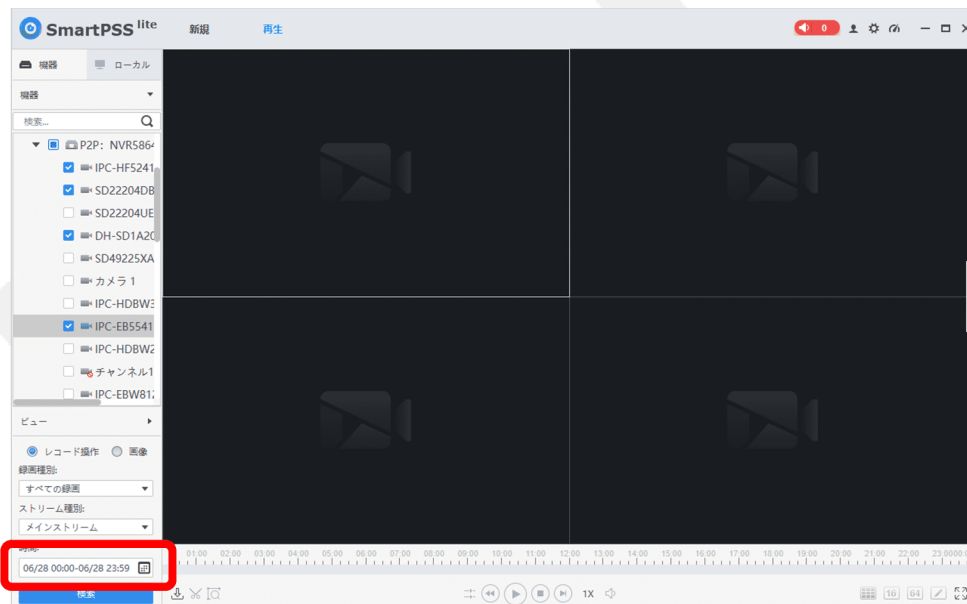
7.1.1. メニュー表示

メインメニューから「再生」をクリックする。



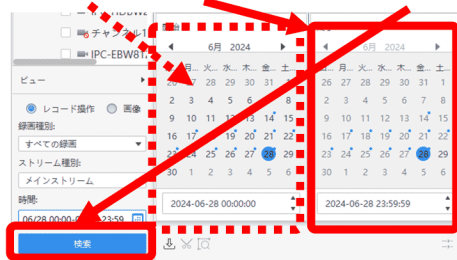
7.1.2. デバイス指定

録画再生したいデバイスをチェックし、「時間」をクリックする。



7.1.3. 録画時間検索

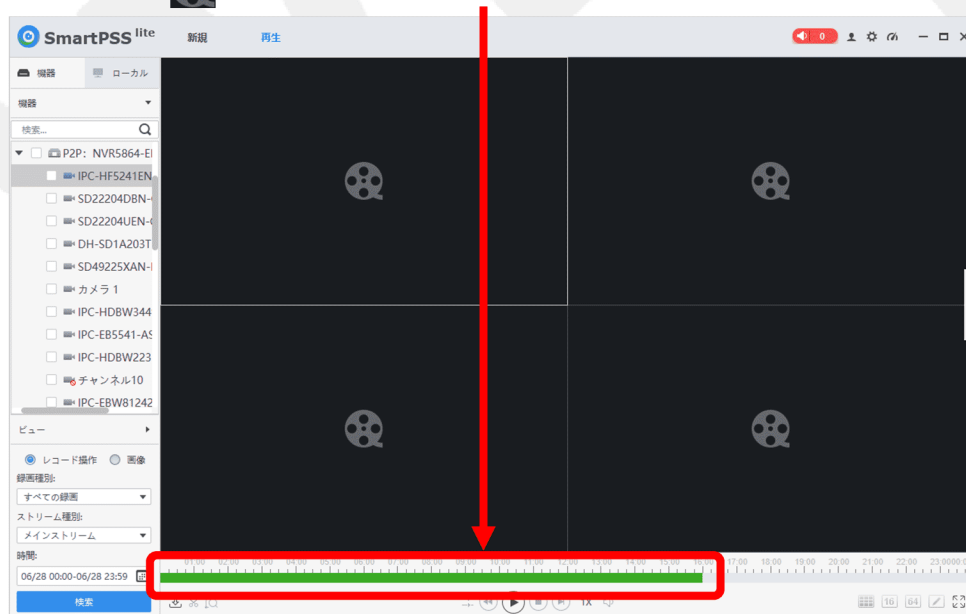
検索開始と終了時間を指定し、「検索」をクリックする。



※検索期間は1日。

7.1.4. 録画再生①

表示された  をクリックし、再生したい時間をクリックするとチャンネル毎に再生が開始される。

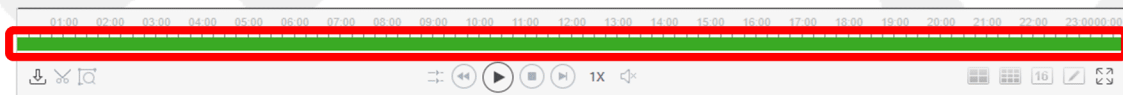


※  は検索を指定したデバイスの上から順番に表示される。

※  は録画データがあるチャンネルに表示される。

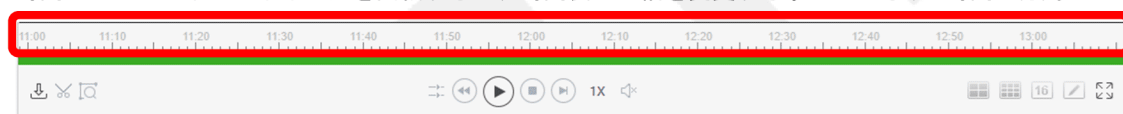
7.1.4.1. タイムバー操作①

緑色の箇所に録画データが存在し、再生したい時間をマウスでクリックすると、再生が開始される。



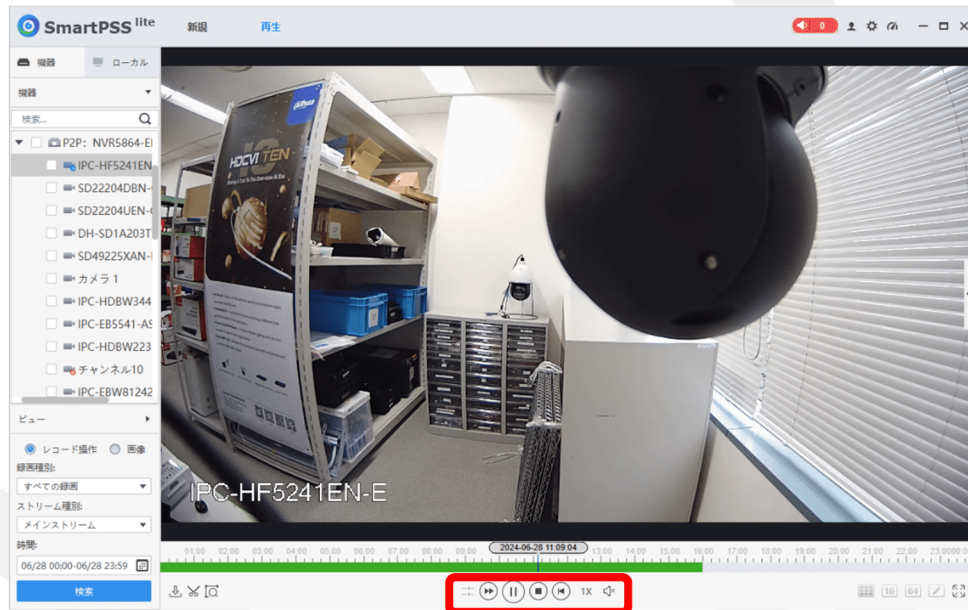
7.1.4.2. タイムバー操作②

時間のバーでマウスのホイールを回転すると、時間表示の幅を変更する事ができる(24時間⇄分)。



7.1.5. 録画再生②

アイコン操作について説明する。



- 複数のチャンネルと同期再生。1画面での使用は不可。
- 逆再生（同期再生中は使用不可）。
- 一時停止/再生。
- 再生停止。
- フレーム単位再生。
- 1X
倍速再生。8倍～1/8倍まで設定可能。
- 音声ミュート。

7.1.6. 録画再生③

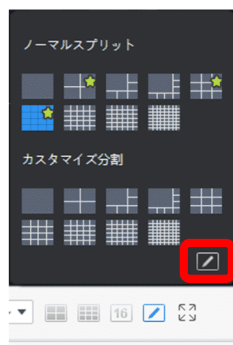
アイコン操作について説明する。



- 9画面表示にする。
- 16画面表示にする。
- 画面構成をカスタマイズする。
次章を参照。
- フルスクリーン表示にする。

7.1.6.1. 表示画面変更

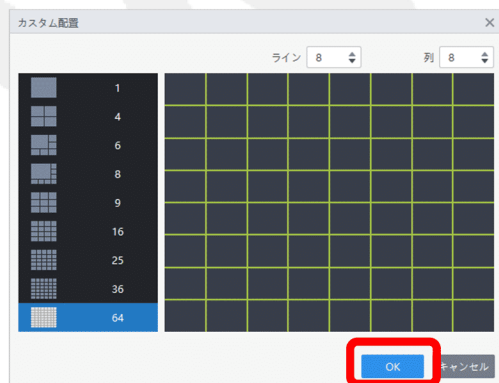
表示したい画面をクリックすると、指定の表示に変更される。



- ・ノーマルスプリット
標準で登録された画面表示。
1 段目：単画面、4 画面、6 画面、8 画面、9 画面
2 段目：16 画面、25 画面、36 画面、64 画面
※右上の星型アイコンがあると、ライブ映像のアイコンに表示される。
- ・カスタマイズ分割
カスタム画面が表示される。 をクリックすると、次章で説明するカスタム分割画面を作成できる。

7.1.6.2. カスタム分割画面作成

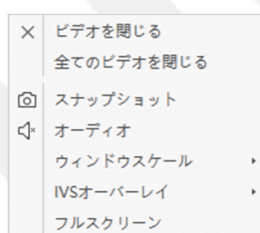
左側のアイコンをクリックして修正する画面を選択する。右側の四角の線をクリックして実線にすると分割、もう一度クリックすると点線となって線が削除される。変更した画面は「OK」をクリックして保存する。変更された画面は前章の「カスタマイズ分割」に表示される。



7.1.7. 録画再生④

7.1.7.1. 通常メニュー

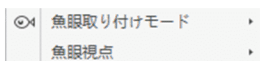
再生時に右クリックで表示されるメニューについて説明する。詳細は 6.1.4.1 メニュー説明を参照。



名称	機能
ビデオを閉じる	表示しているビューを閉じる。
全てのビデオを閉じる	全てのビューを閉じる。
スナップショット	スナップショットを取得する。ボタンをクリックすると、表示しているビューの画像を保存する。
オーディオ	カメラ音声も再生する(マイク実装済みのみ)。
ウィンドウスケール	メニューで選択した比率で映像を表示する。
IVS オーバーレイ	画面内に IVS 検知用のラインやボックスを表示する。
フルスクリーン	表示しているライブビューを全画面表示する。

7.1.7.2. フィッシュアイカメラ用メニュー

フィッシュアイカメラ再生時に右クリックで表示されるメニュー(抜粋)について説明する。
詳細は 6.1.4.6 補足：フィッシュアイ用メニューを参照。



名称	機能
魚眼取り付けモード	フィッシュアイカメラの取付位置を設定する。
魚眼視点	フィッシュアイカメラの表示を設定する。 再生中のデワープ表示が可能。

7.1.8. 録画再生⑤

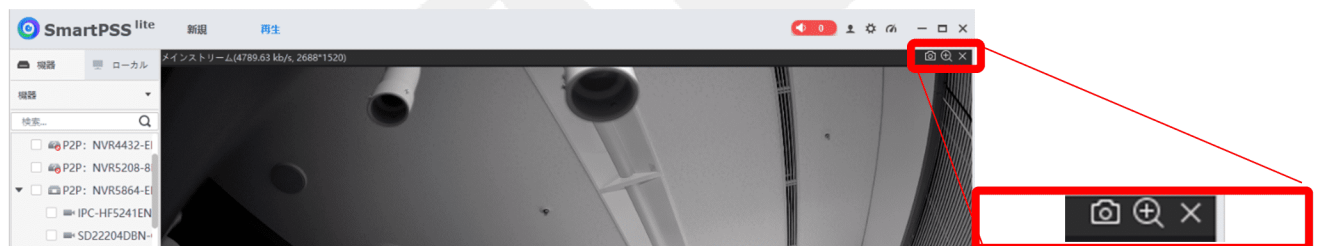
右の矢印タブをクリックすると、保存単位(デフォルト1時間)の録画リストが表示される。
ダブルクリックすると、その時間での再生が開始される。



※右上のコンボボックスから、一般録画やアラーム録画の表示選択が可能。

7.1.9. 録画再生⑥

ビューの右上に表示されているアイコンの説明となります。



アイコン	名称	機能
	スナップショット	スナップショットを取得する。ボタンをクリックすると、表示しているライブビューの画像を保存する。
	ズームイン	電子ズームを行う。マウスで範囲指定し、ホイールで拡大 / 縮小する。
	ビデオを閉じる。	表示しているライブビューを停止する。

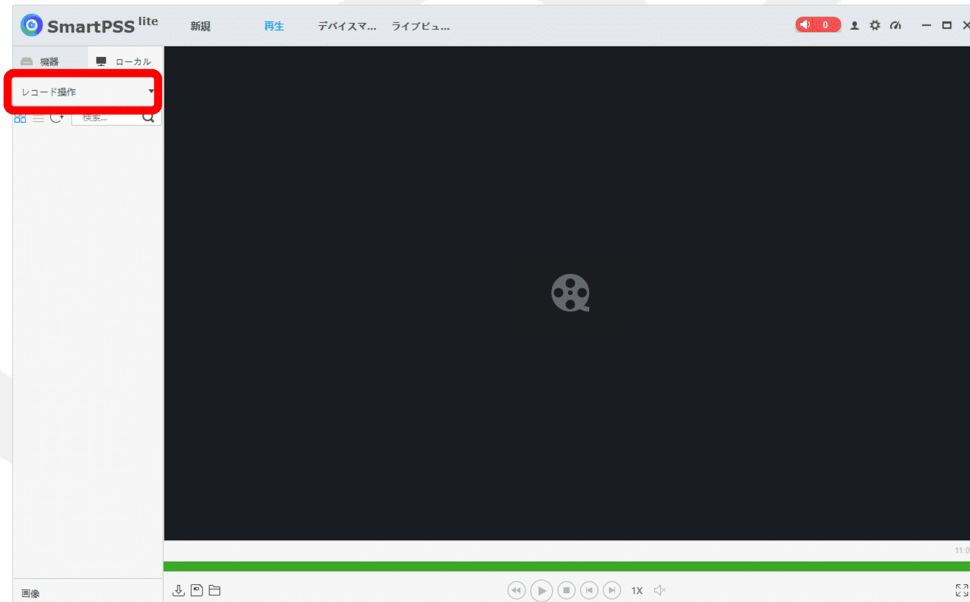
7.1.10. ローカル再生

録画再生画面から「ローカル」をクリックすると表示される。

インスタント録画やスナップショットを取得したファイルを参照したり、ローカル PC にエクスポートした録画データを参照できる。

7.1.10.1. ローカル録画

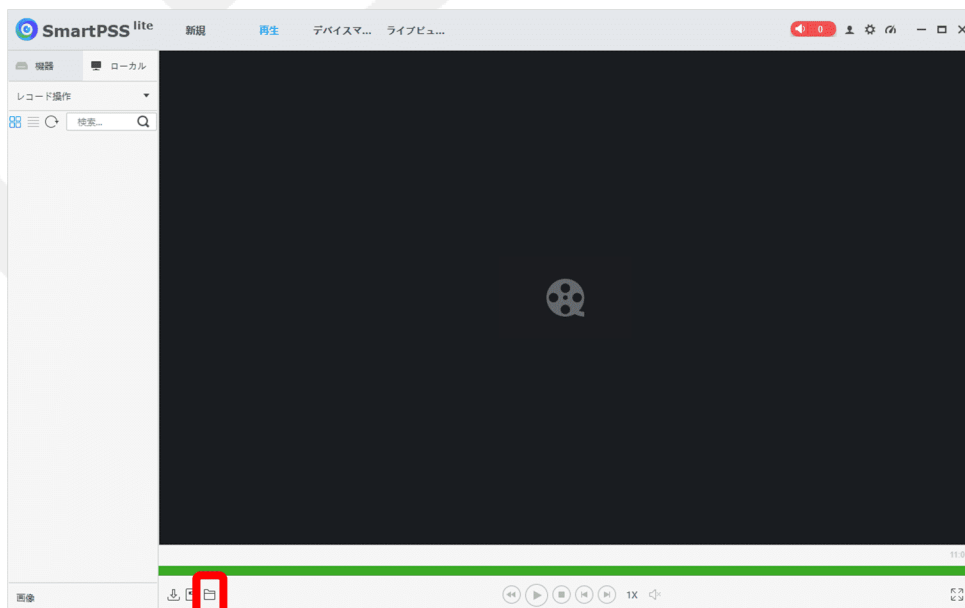
「レコード操作」をクリックする。左ペインに録画データが表示されるので、必要なデータを選択して再生する。



7.1.10.2. ローカル再生

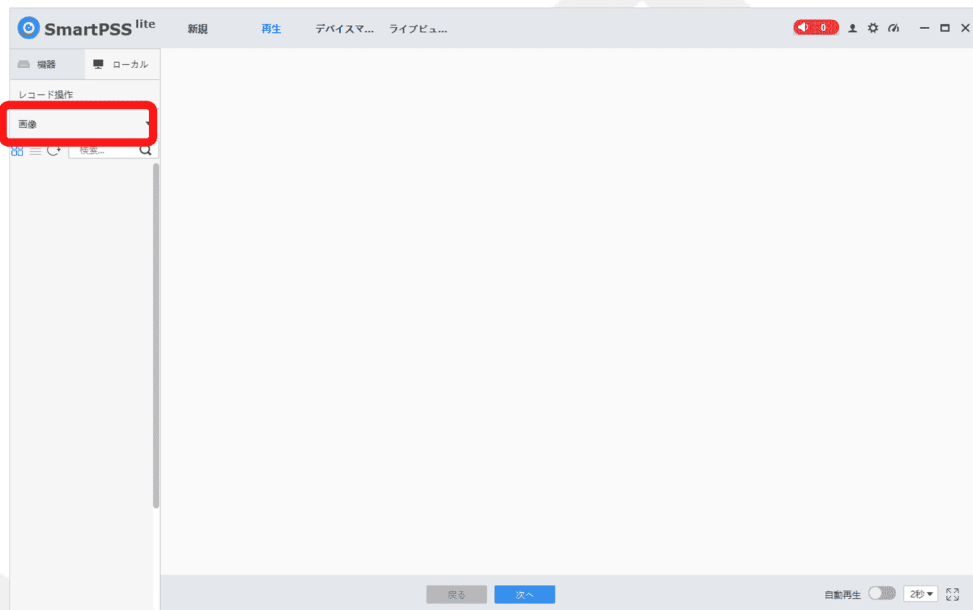
エクスポートした録画データが再生できる。

左下のアイコン  をクリックするとダイアログが開くので、録画データを指定するとそのファイルが再生される。



7.1.10.3. ローカル録画(スナップショット)

「画像」をクリックする。左ペインに画像が表示されるので、必要なデータを選択して表示する。

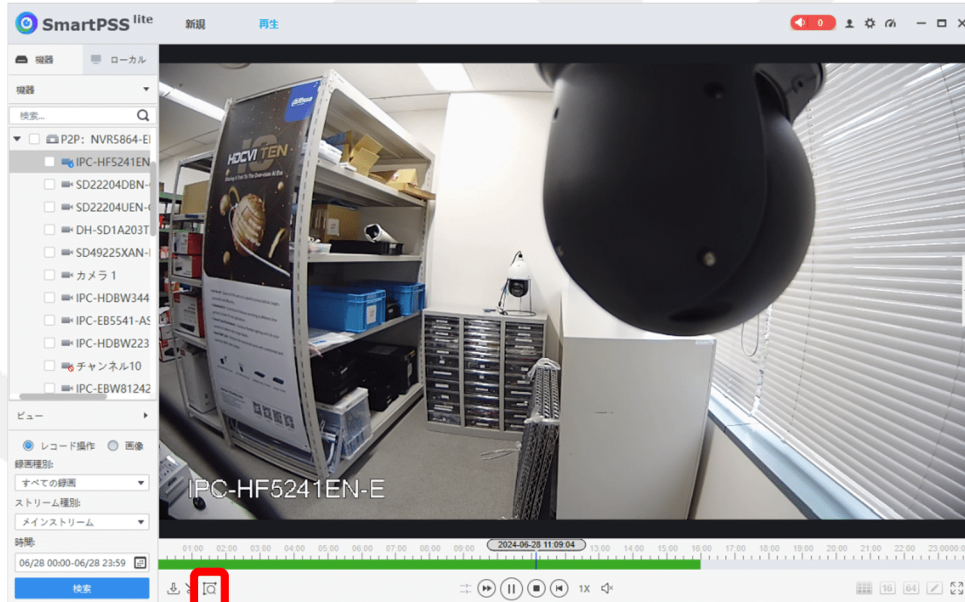


7.2. スマート検索

スマート検索は指定したエリア内で、動きがあった場所だけを検索 / 表示する機能。
※レコーダに動体検知の設定をしている事が必須となります。

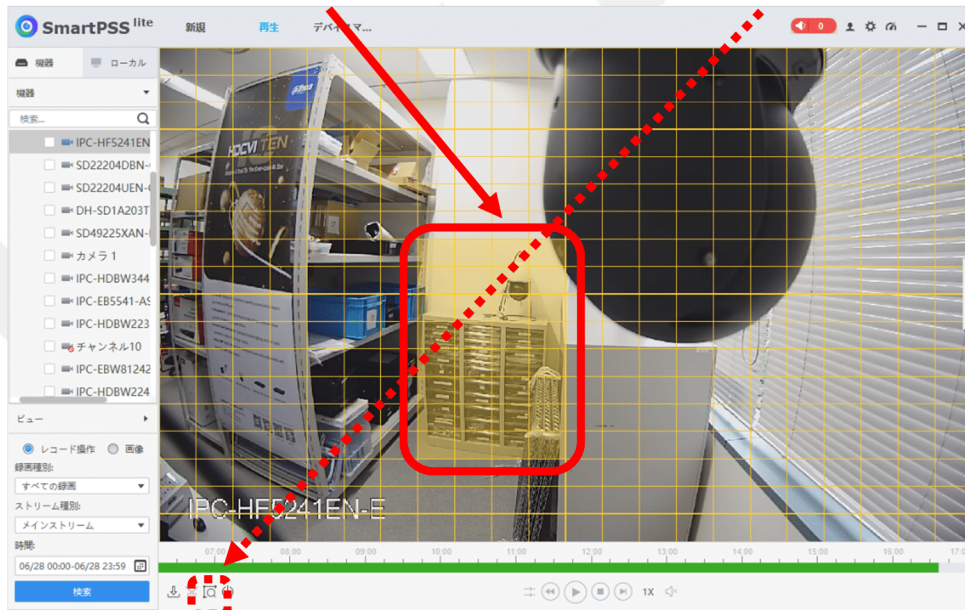
7.2.1. スマート検索①

動画の再生中に、 をクリックする。



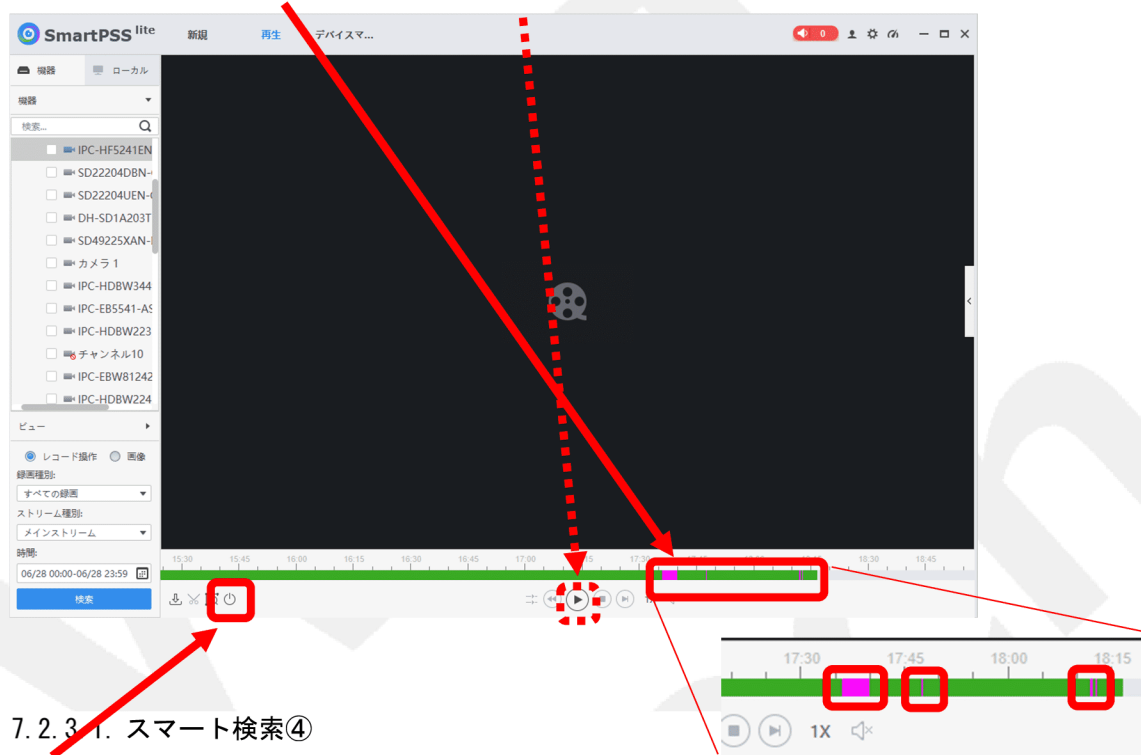
7.2.2. スマート検索②

動きがあった事を知りたいエリアをマウスでドラッグし、もう一度  をクリックする。



7.2.3. スマート検索③

動きがあった時間帯がピンクで表示される。「再生」ボタンをクリックすると、動きがあった箇所が再生される。

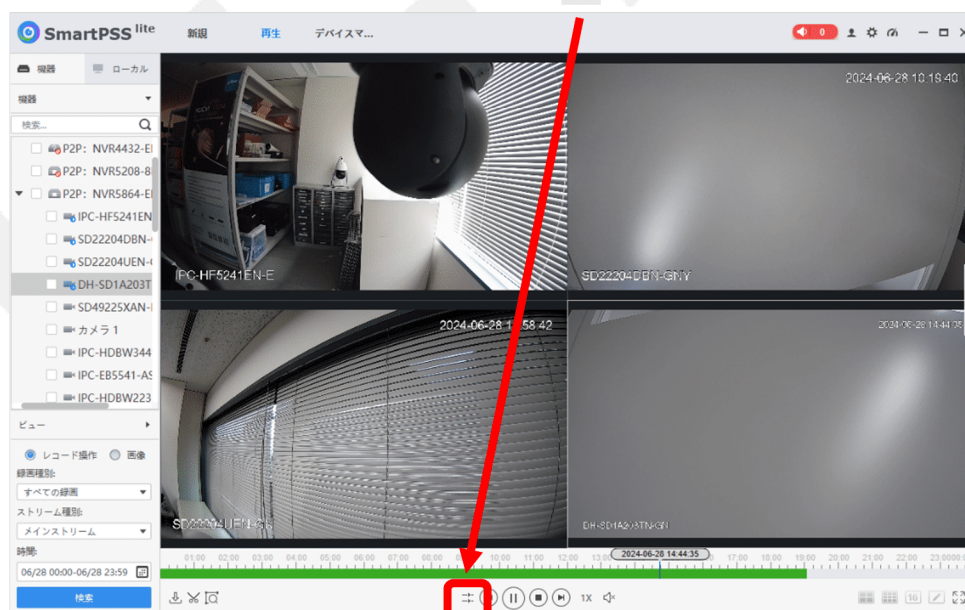


7.2.3.1. スマート検索④

⏻ をクリックするとスマート検索は終了する。

7.3. 同期再生

複数のチャンネルを再生すると、カメラ毎に別々に指定した時間で再生される。
複数のチャンネルを同じ再生時間に合わせる場合、⏮ をクリックする。

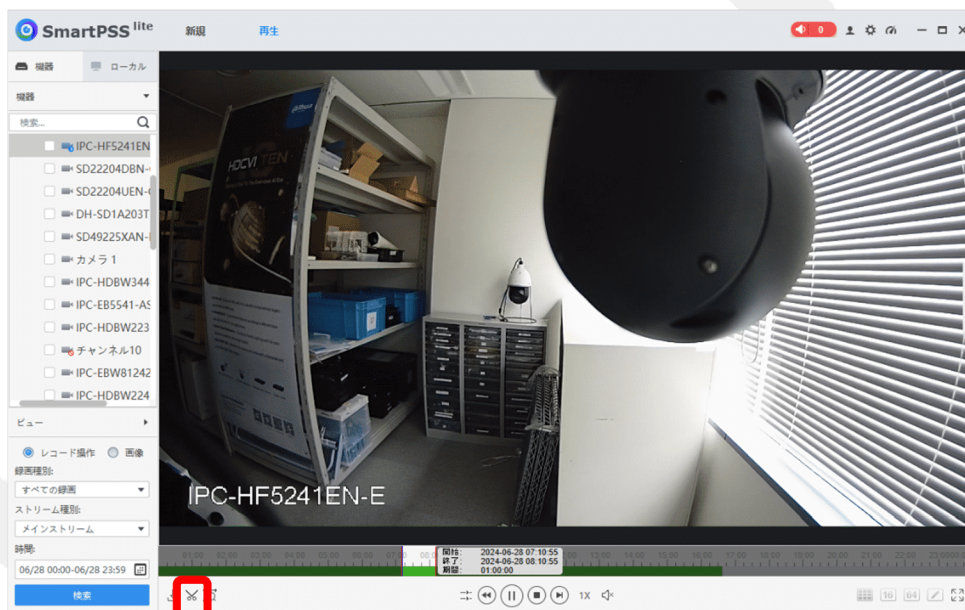


7.4. 録画データエクスポート

録画データのエクスポートについて説明する。

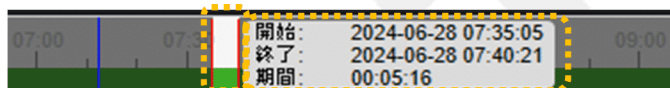
7.4.1. エクスポート①

動画を再生し、出力したい時間の近くで画面左下の ✂ をクリックする。



7.4.2. エクスポート②

左右の赤線をドラッグして動かしてエクスポートする開始時間と終了時間を設定し、もう一度 ✂ をクリックする。



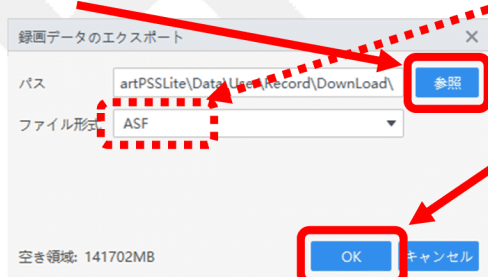
↑ ※開始/終了時間は上記のボックスに表示。

緑色が録画済の時間。クリックした時間を再生する。カーソルをバーにあわせてホイールを回転すると、時間枠を拡大・縮小できる。

※1時間以上のエクスポートは機器に負荷が大きく、失敗する可能性が高いので、なるべく短時間で録画データのエクスポートを実施する事を推奨。

7.4.3. エクスポート③

「参照」をクリックして出力先を設定し、ファイル形式を選択し、「OK」をクリックする。



※ファイル形式 (ASF/AVI/MP4/元フォーマット)。

元フォーマットを選択すると、Dahua オリジナルの DAV 形式で映像が出力される。

再生は 7.1.10.2 ローカル再生で行うか、別途 SmartPlayer のインストールが必要となる。

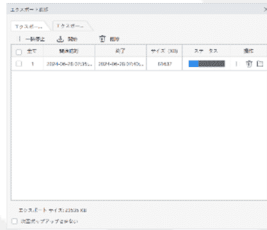
7.4.4. エクスポート④

以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックする(録画再生が停止される)。



7.4.5. エクスポート⑤

以下の画面が表示される。エクスポートが終了すると、右下に実行結果がポップアップで表示される。



8. イベント設定

デバイスのイベントとアプリケーションを連携させる。連携にはアプリケーションの常時起動が必要となります。
※デバイスとの連携を行うため、デバイスは常にオンラインである必要あり。

8.1. 設定

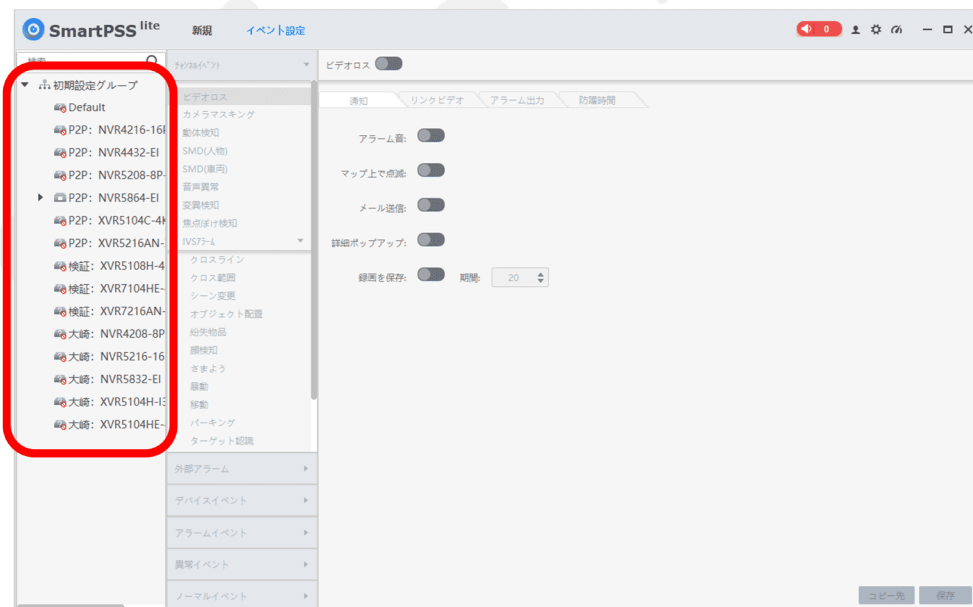
8.1.1. メニュー表示

メインメニューから「イベント設定」をクリックする。



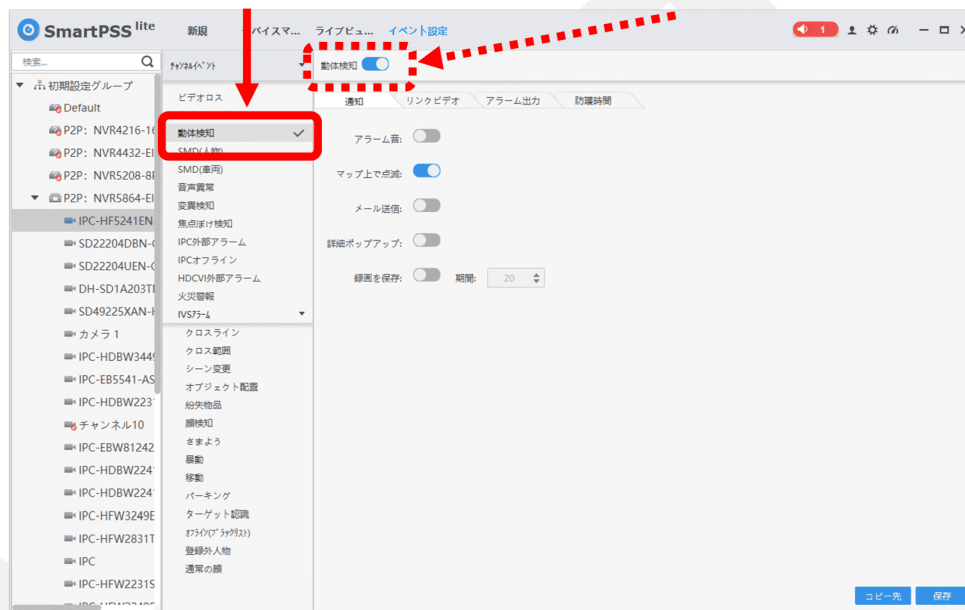
8.1.2. デバイス指定

以下の画面が表示されるので、連携するデバイス(オンライン)を選択する。



8.1.3. イベント連携①

メニューから「動体検知」をクリックし、画面上段の「動体検知」をチェックする。



※本章では例として動体検知を連携させる。

8.1.4. イベント連携②

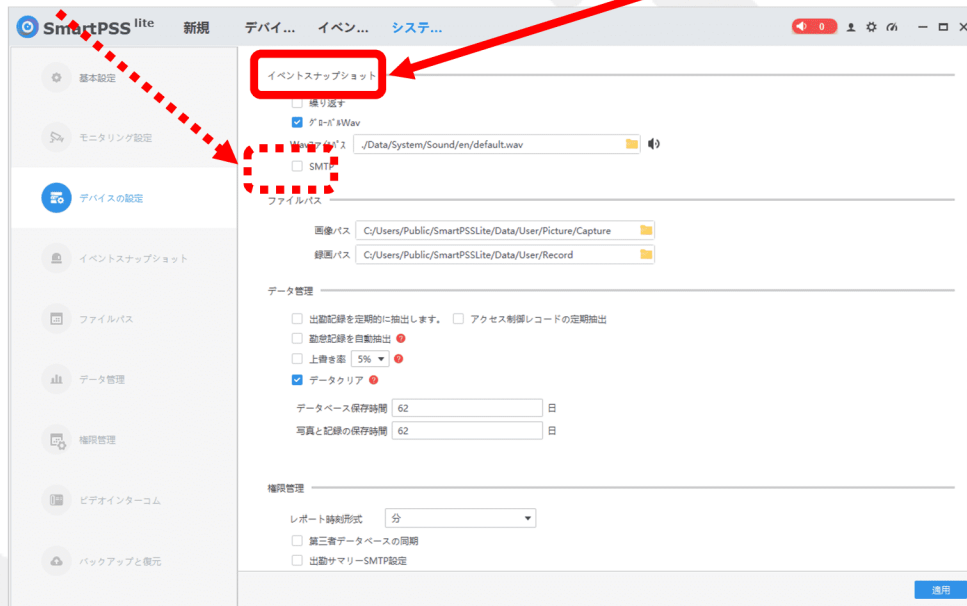
「通知」をクリックすると以下の画面が表示される。デバイスの検知と連携して動作する。



名称	機能
アラーム音	検知したら、PC から音声を出す。
マップ上で点滅	検知したら、E-MAP 上のアイコンを点滅させる。
メール送信	検知したら、メール送信を行う。 ※後述の設定が必要。
詳細ポップアップ	検知したら、ポップアップメッセージを表示する。
録画を保存	検知したら、検知時の映像をローカル録画する。期間=録画秒数。

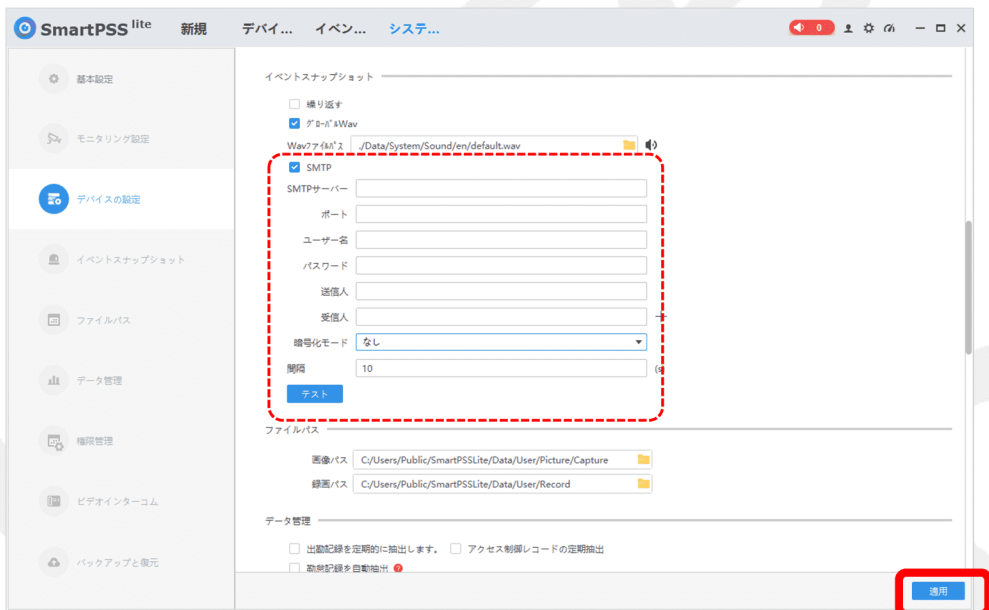
8.1.4.1. メール送信設定①

4.1.1. メニュー表示を参照してメニューを表示し、「イベントスナップショット」を表示する。
「SMTP」にチェックを入れる。



8.1.4.2. メール送信設定②

必要な情報を入力したら、「適用」をクリックする。

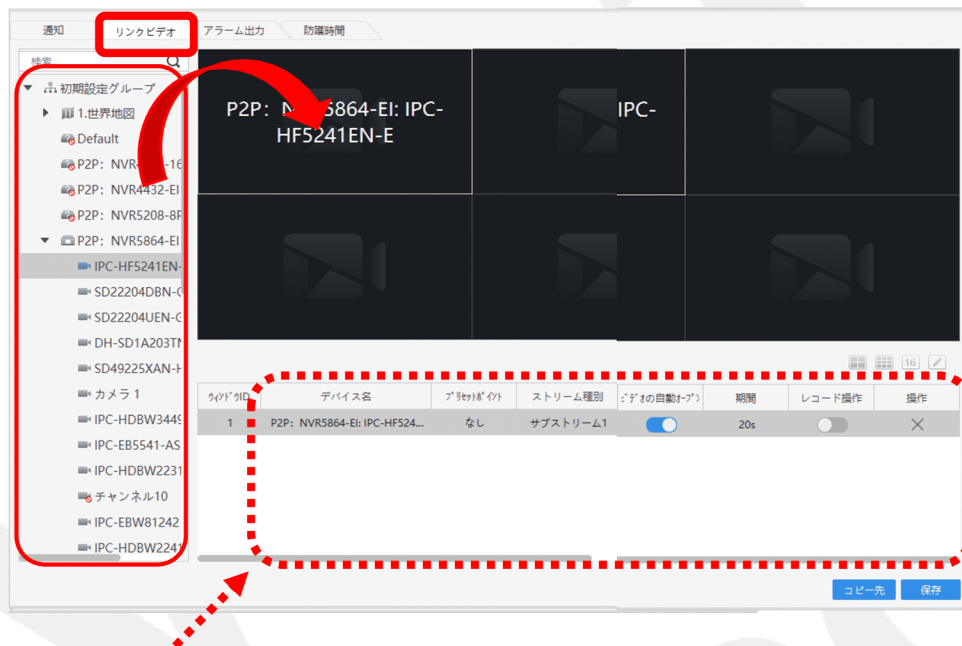


項目	設定	項目	設定
SMTP サーバー	メール送信先の IP か FQDN を入力。	送信人	メール送信者のアドレス
ポート	SMTP サーバーのポート番号	受信人	メール送信先のアドレス (最大 5)。
ユーザー名	メールアドレスのユーザー	暗号化モード	暗号化形式を設定 (なし/TLS/SSL)
パスワード	ログインパスワード	間隔	メール送信間隔 (秒)

※「テスト」をクリックすると、設定した SMTP サーバーへテストメールを送信する。

8.1.5. イベント連携③

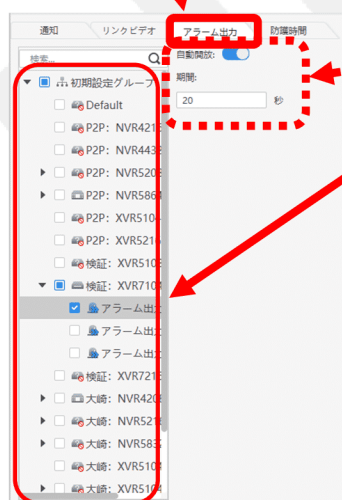
「リンクとビデオ」をクリックすると以下の画面が表示される。デバイスの検知と連携してポップアップして映像を表示する。左ペインから、右上のビューに表示したいチャンネルをウィンドウ毎にドラッグする。



項目	設定
デバイス名	チャンネル名。
プリセットポイント	PTZのプリセット番号が設定できる。
ストリーム種別	メイン/サブストリームを設定できる。
ビデオの自動オープン	検知と連動してこの画面がポップアップで表示される。
期間	ポップアップで画面表示される時間(秒)。
レコード操作	映像を録画する。
操作	クリックすると、この行が削除される。

8.1.6. イベント連携④

「アラーム出力」をクリックすると以下の画面が表示される。デバイスの検知と連携して指定の機器からアラーム出力を行う。アラーム出力させたいデバイスとその出力先を選択し、「自動開放」をクリックする。



※アラーム出力を実装した機器でないと連携できないので注意。

8.1.7. イベント連携⑤

「防護時間タブ」をクリックすると以下の画面が表示される。デバイスと連携するスケジュールを設定する。

通知 リンクビデオ アラーム出力 **防護時間**

(-) 週間プラン 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

(-) 日曜日																									⚙️
(-) 月曜日																									⚙️
(-) 火曜日																									⚙️
(-) 水曜日																									⚙️
(-) 木曜日																									⚙️
(-) 金曜日																									⚙️
(-) 土曜日																									⚙️

8.1.8. イベント連携⑤

全ての設定が終了したら、画面左下の「保存」をクリックする。

コピー先 **保存**

8.2. イベント連携

8.1. で設定したイベントが発生した場合の動きについて説明する。

8.2.1. イベントセンターでのカウント

イベントが発生すると、画面右上のカウントが増える。

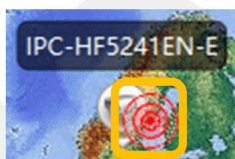
イベントはイベントセンターで確認待ちの状態となり、未確認のイベント数がここに表示される。



※  をクリックするとアラーム音が消音となり、もう一度クリックすると音声が出力される。

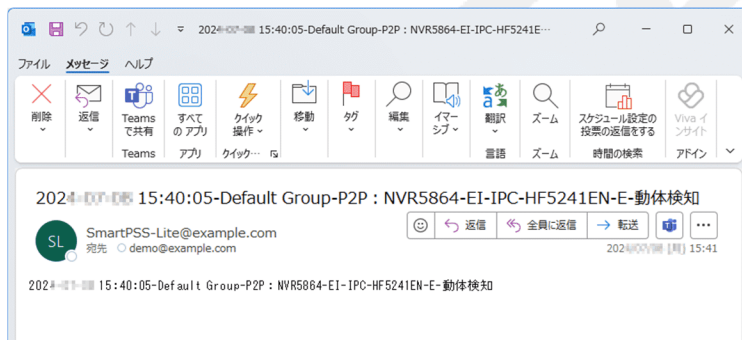
8.2.2. アイコン点滅

「通知」→「マップで点滅」を設定していると、検知後 E-MAP 上のカメラアイコンが点滅する。



8.2.3. メール送信

「通知」→「メール送信」を設定していると、検知後にメールが送信される。



8.2.4. 詳細ポップアップ

「通知」→「詳細ポップアップ」を設定していると、検知後に以下の画面が表示される。

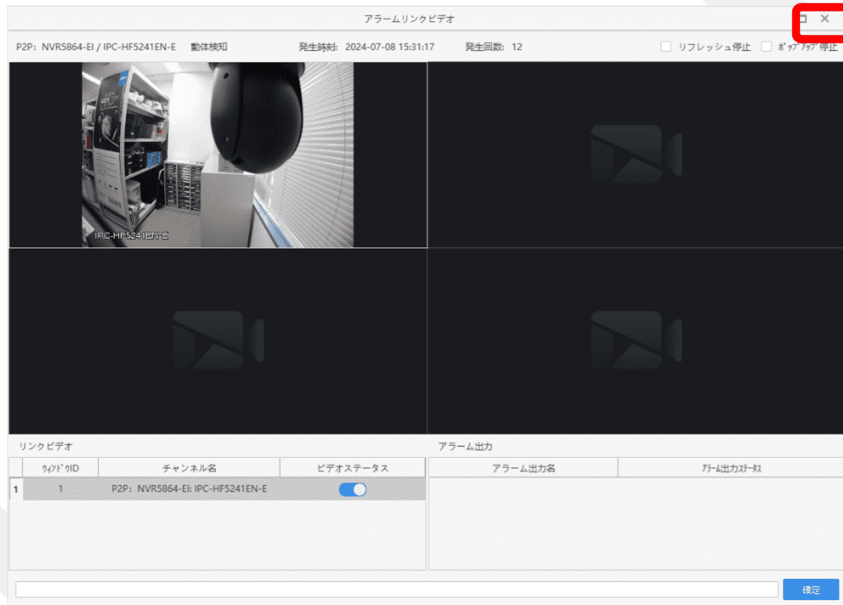


- ・処理結果
「処理済み」にして「確定」をクリックすると、イベントセンターで表示されなくなる。
- ・処理注釈
確定する時に入れるメモ。ログにも記録される。
- ・リアル
ライブ映像が表示される。
- ・確定
画面を終了する。

8.2.5. リンクビデオ

「リンクビデオ」を設定していると、以下の画面が表示される。

ビュー内の映像は指定時間で終了するが、この画面は右上の「×」をクリックするまで表示される。



8.3. イベントセンター

- 8.1. で設定したイベントの確認を行う。ここで「処理済み」とするまで履歴は表示される。
「処理済み」とした場合、ここに表示されなくなるが、ログからイベントの履歴を確認できる。

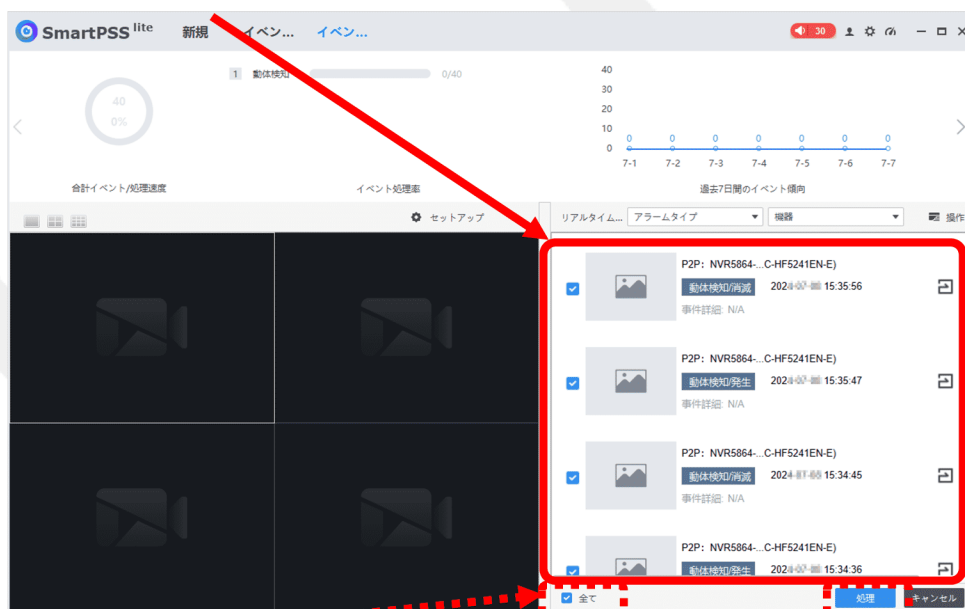
8.3.1. メニュー表示

メインメニューから、右上の赤い枠をクリックする。



8.3.2. イベント処理①

イベントをダブルクリックする。



※一括処理の場合、「全て」をチェックして「処理」をクリックする。

8.3.3. イベント処理②

「処理済み」にチェックを入れ、追加情報があれば「備考」に追記して「確定」をクリックする。

処理

処理結果: ☒ 処理済み ☐ 未処理

ハンドラー: * admin

備考:

確定 キャンセル

8.3.4. イベント処理③

イベントセンターから、「処理済み」とされたイベントが消去される。
消去されたイベントは、ログから確認できる。

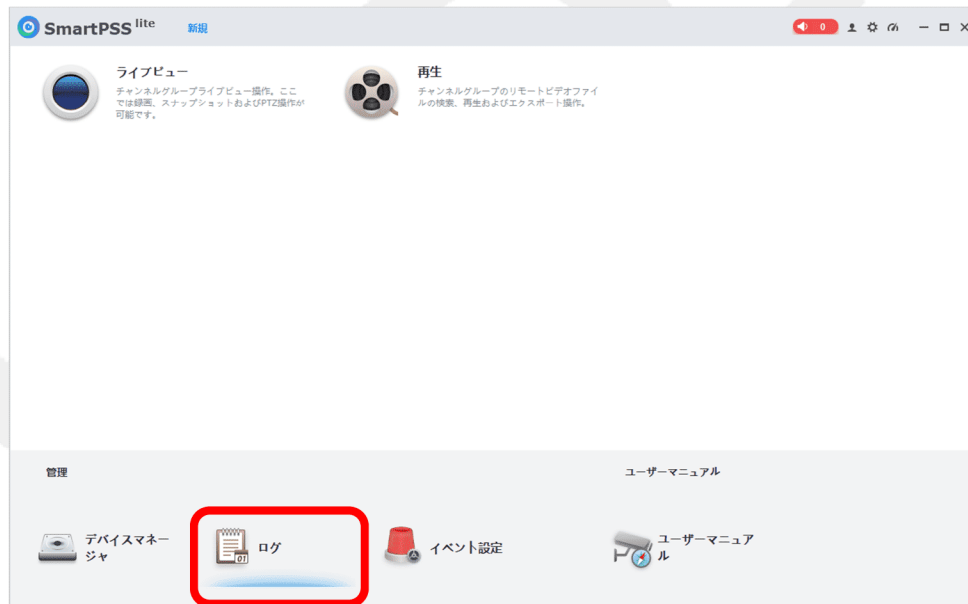
9. ログ

アプリケーション及びデバイスのログを参照する。

9.1. ログ表示

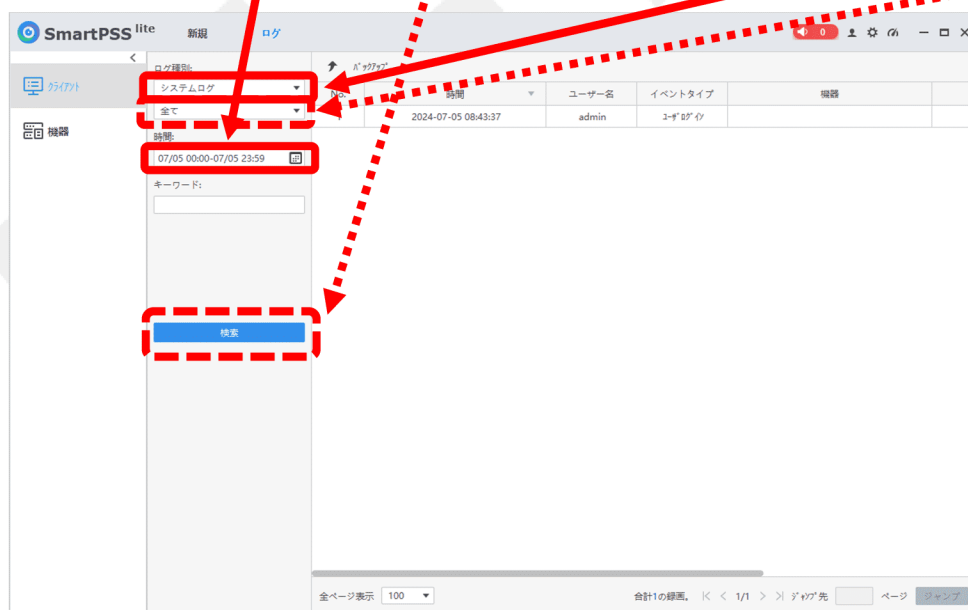
9.1.1. ログ表示①

メインメニューから「ログ」をクリックする。



9.1.2. ログ表示②

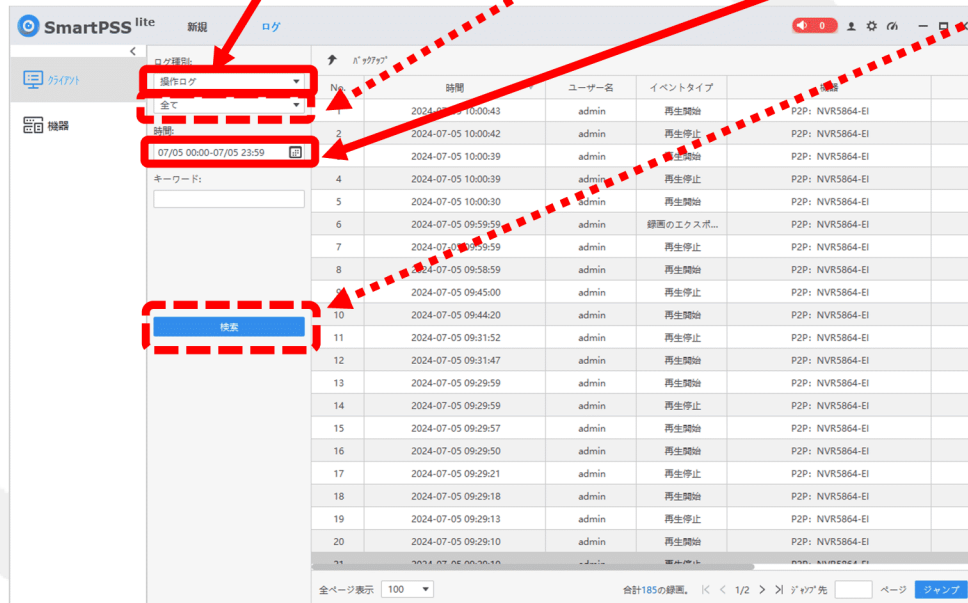
アプリケーションの起動や停止のログを表示する。「ログ種別」から「システムログ」を選択し、「イベントタイプ」を選択し、対象の日付を選択して「検索」をクリックすると表示される。



※検索期間は1日。

9.1.3. ログ表示③

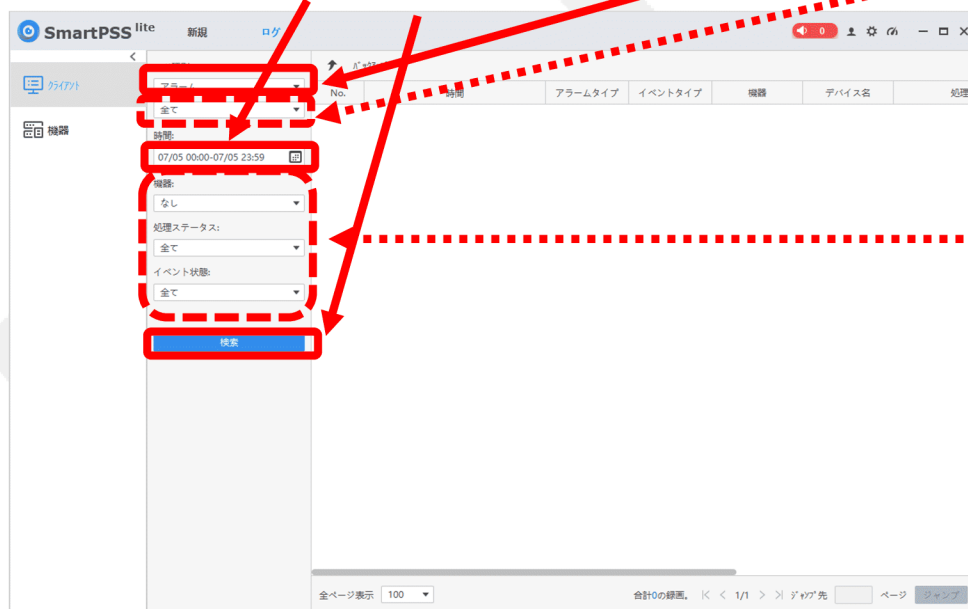
アプリケーションと連携したデバイスのイベントのログを表示。この操作だけは機器の表示と選択が必要。
「ログ種別」から「操作ログ」を選択し、「イベントタイプ」を選択し、対象の日付を選択して「検索」をクリックすると表示される。



※検索期間は1日。

9.1.4. ログ表示④

デバイスに実行した操作ログを表示する。「ログ種別」から「アラーム」を選択し、「イベントタイプ」を選択し、対象の日付を選択して「検索」をクリックすると表示される。

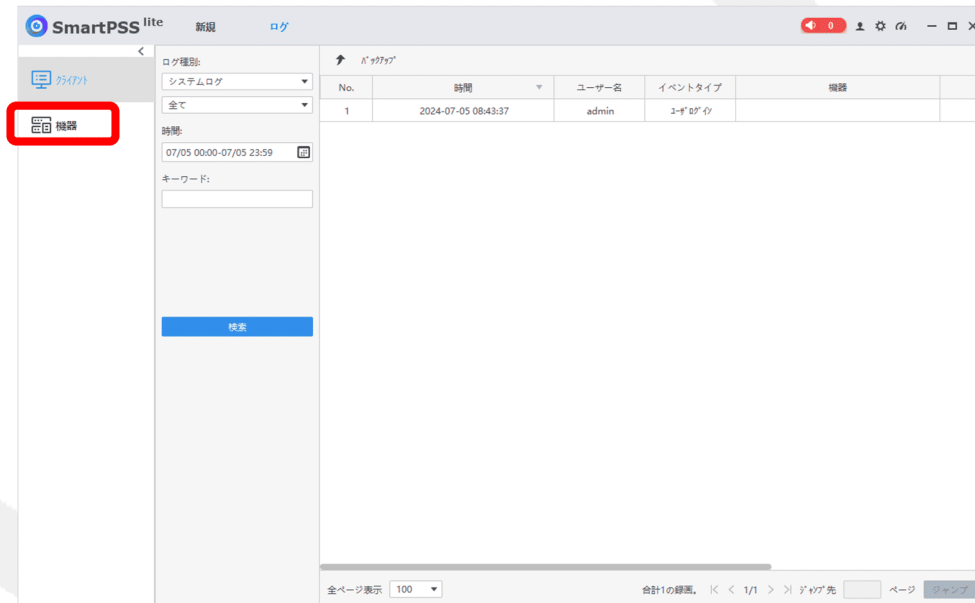


※検索期間は1日。

9.2. デバイスログ表示

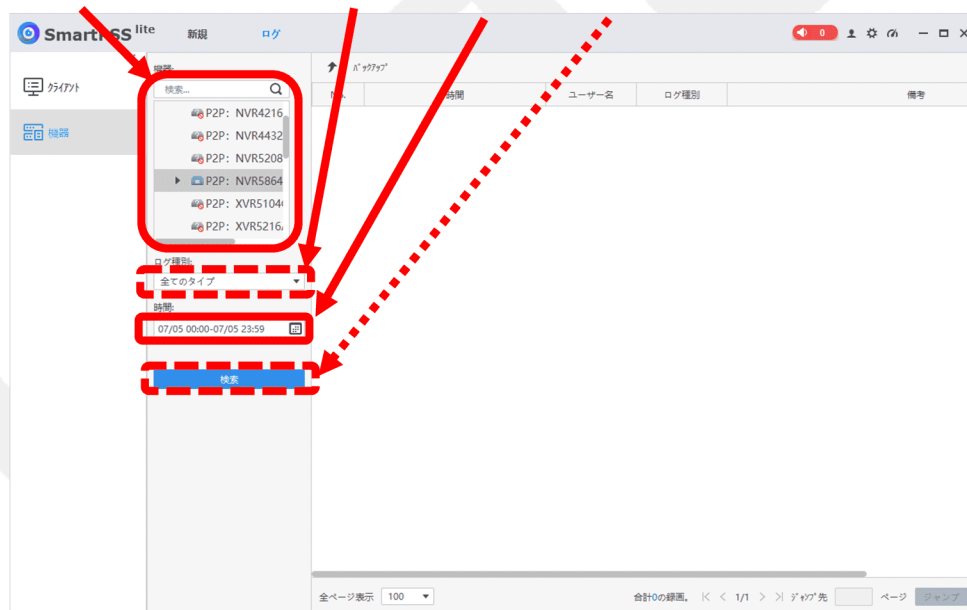
9.2.1. デバイスログ表示①

「機器」をクリックする。



9.2.2. デバイスログ表示②

デバイスを選択し、ログ種別を選択し、日付指定し、検索をクリックするとデバイスのログが表示される。

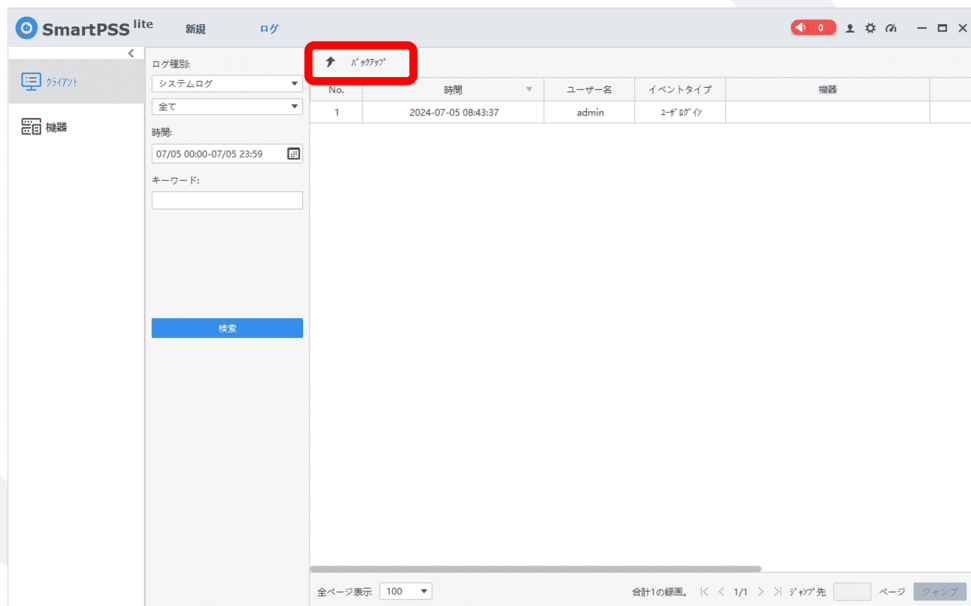


※デバイスはオンラインでないと、ログ表示はできない。

9.3. 共通：ログ出力

9.3.1. ログ出力

各画面で「バックアップ」をクリックすると、表示したログをエクスポートできる。
Excel をインストールしていると、Excel 形式で出力。Excel が無い場合は XML 形式で出力される。



10. マニュアル

SmartPSS Lite のマニュアル(英語版 PDF)を表示する。

10.1. マニュアル(英語)

10.1.1. マニュアル表示①

メインメニューから「ユーザーマニュアル」をクリックする。



10.1.2. マニュアル表示②

PDF リーダーが起動し、SmartPSS Lite の英語マニュアルが表示される。

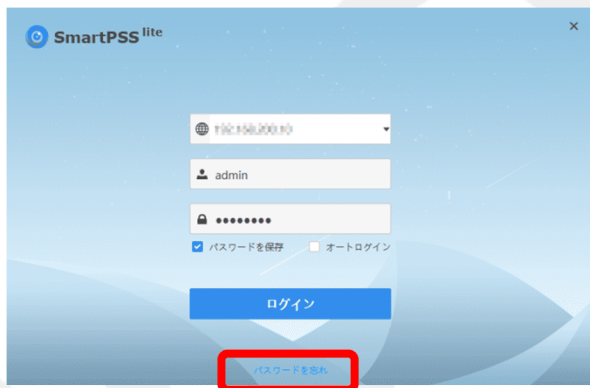
11. その他操作

11.1. パスワードリセット

アプリケーションの管理者パスワードリセット手順となります。

11.1.1. パスワードリセット①

「パスワードを忘れ」をクリックする。



11.1.2. パスワードリセット②

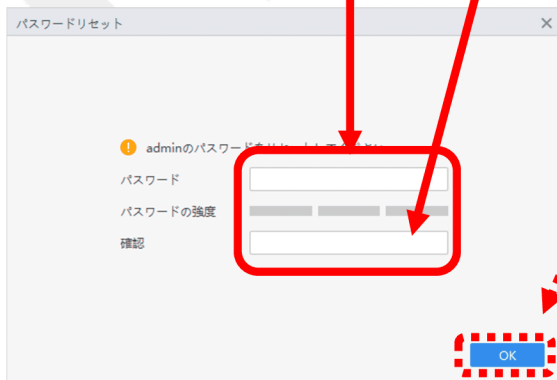
インストール時に設定したセキュリティ質問の答えを入力し、「次へ」をクリックする。



※セキュリティ質問の答えが一致しない場合、パスワードのリセットは不可となります。

11.1.3. パスワードリセット③

再設定するパスワードを、「パスワード」「確認」に入力して「OK」をクリックすると、パスワードリセットは終了となります。



11.2. アンインストール

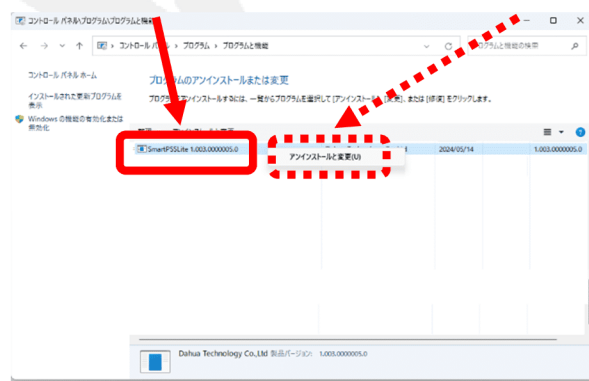
11.2.1. アンインストール①

「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」をクリックする。



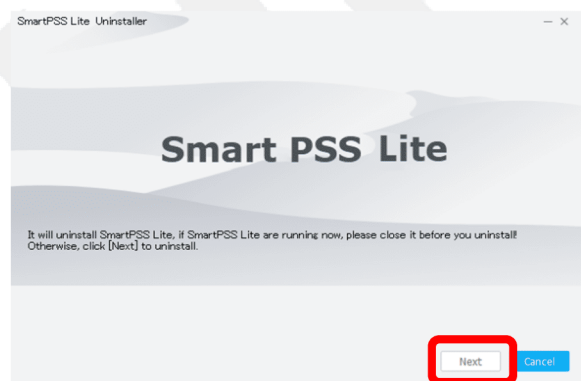
11.2.2. アンインストール②

「SmartPSS Lite」をクリックし、「アンインストールと変更」をクリックする。



11.2.3. アンインストール③

「Next」をクリックすると、アンインストールが開始される。



以上